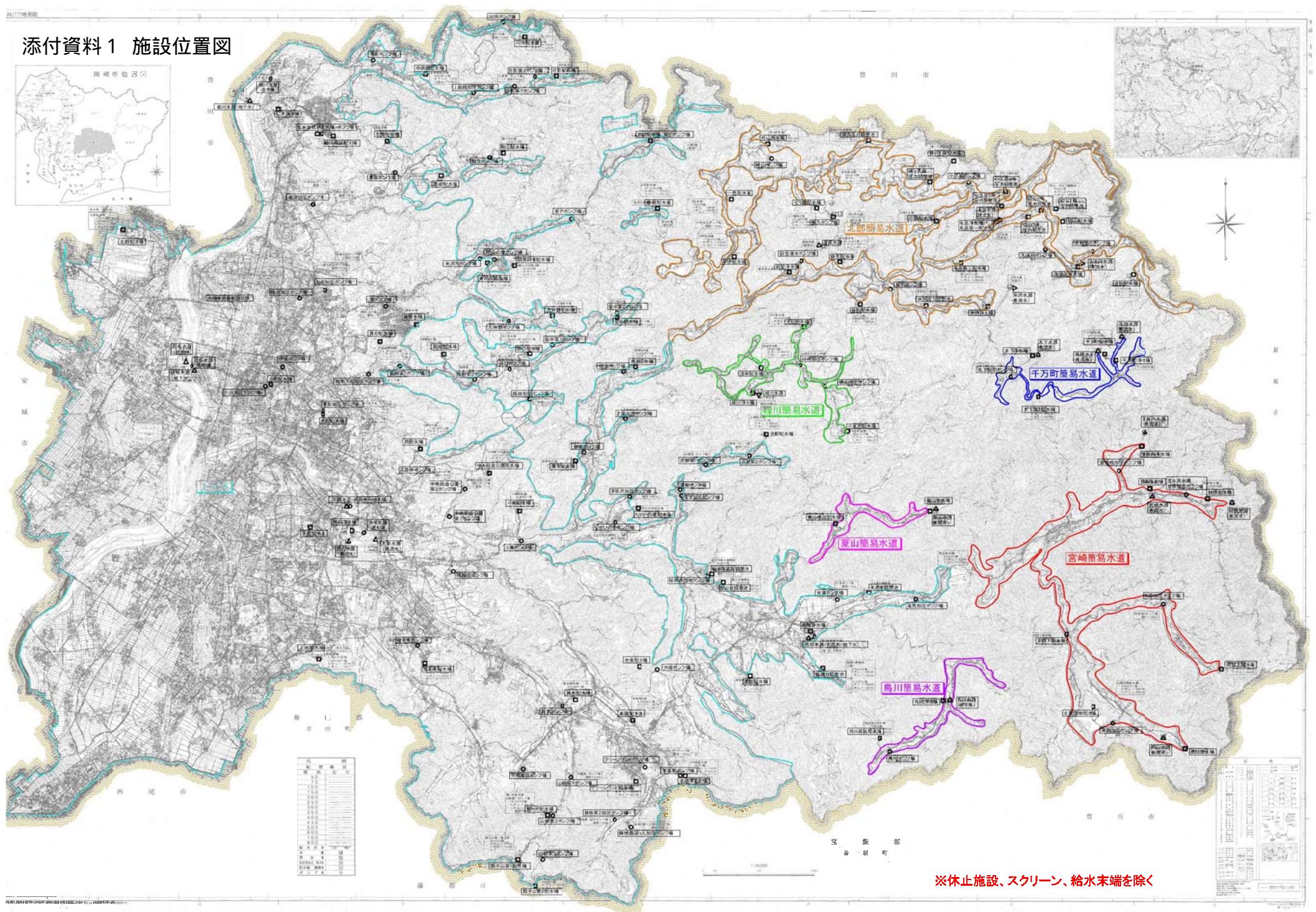
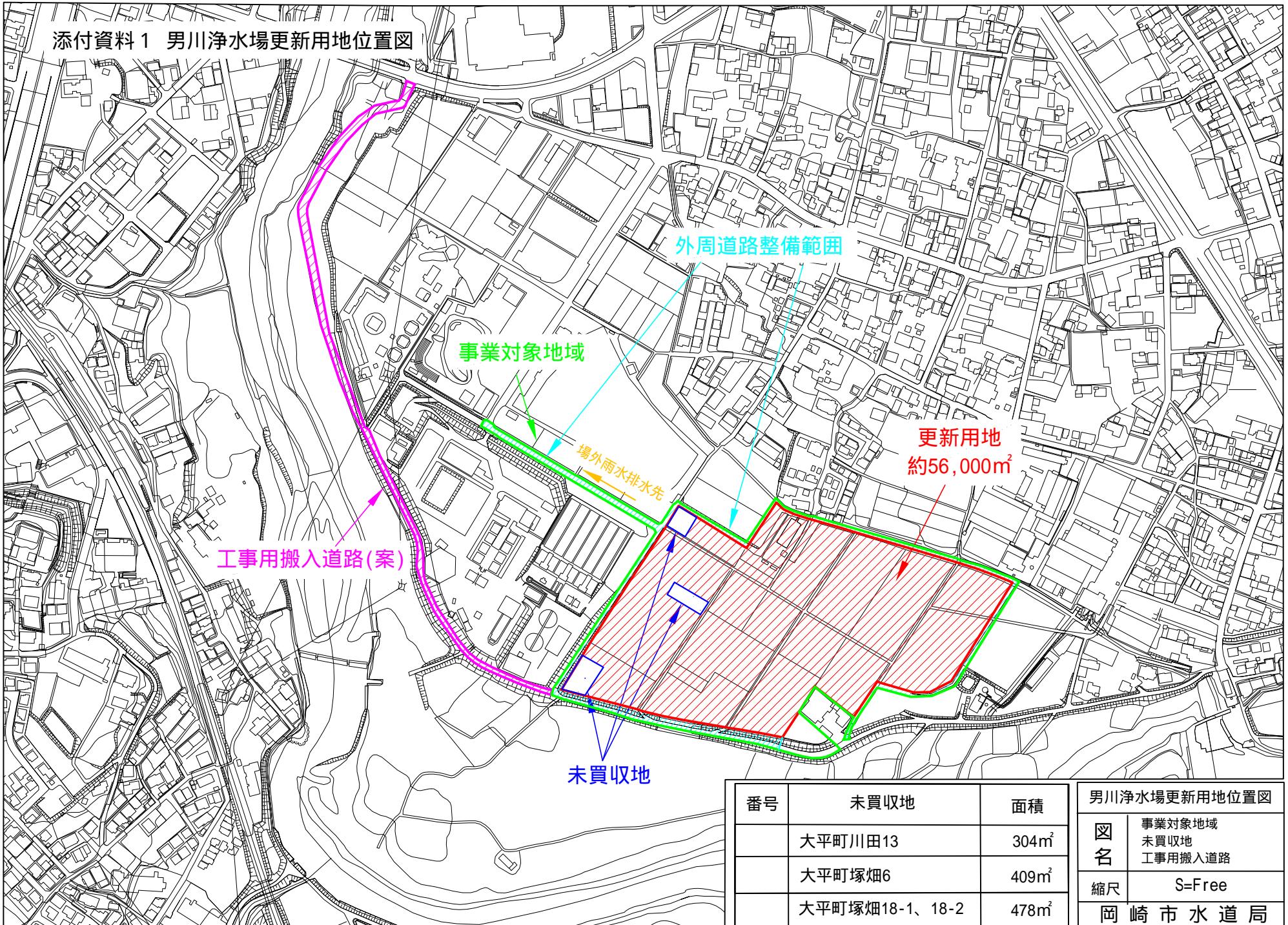


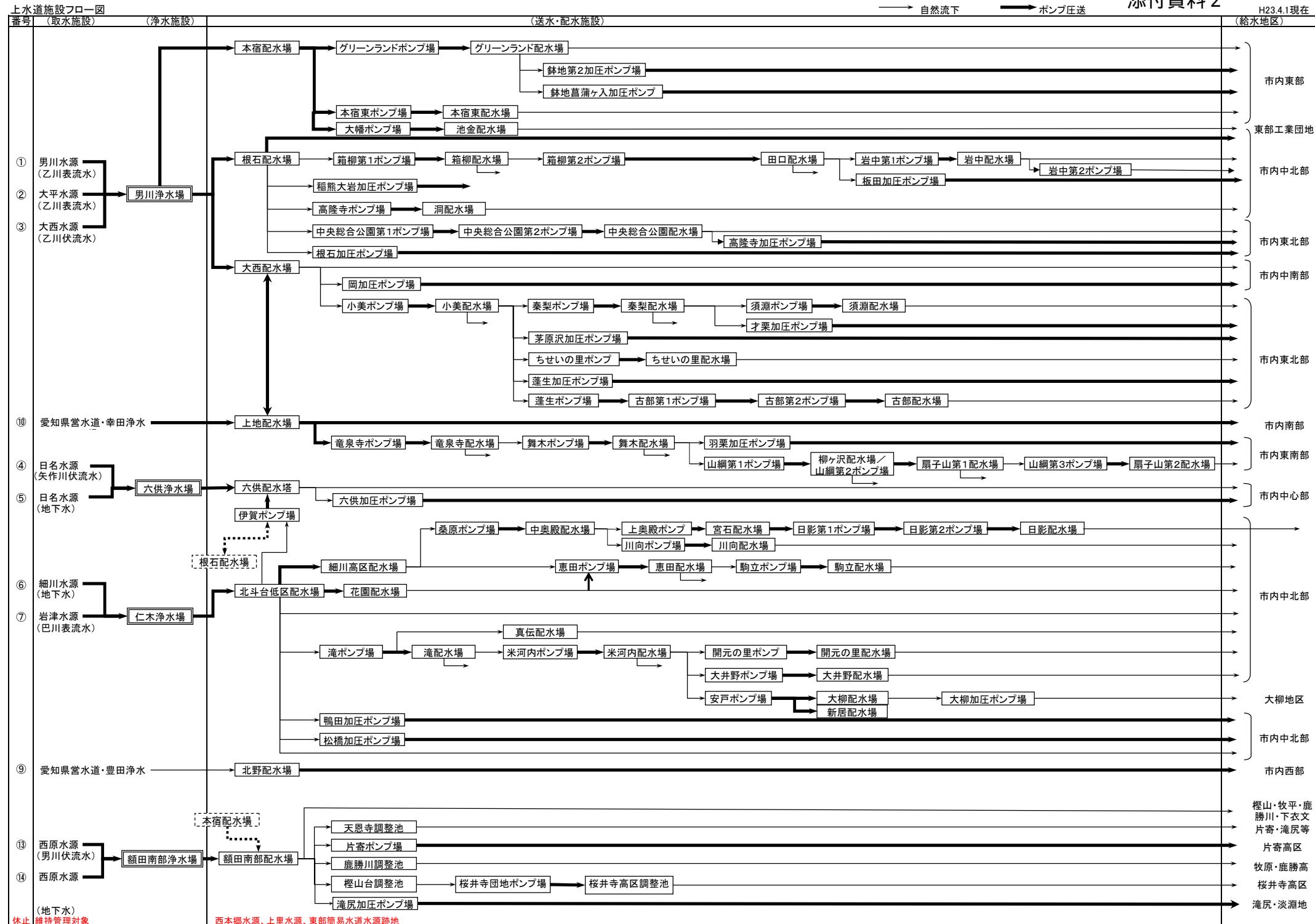
要求水準書 添付資料一覧

- | | | |
|------------|-------------------------|----------------|
| 1 添付資料 1 | ：施設位置図、男川更新用地位置図 | · · · · · P.1 |
| 2 添付資料 2 | ：施設フロー図 | · · · · · P.3 |
| 3 添付資料 3 | ：配置平面図案及び水位高低 | · · · · · P.6 |
| 4 添付資料 4 | ：地質調査結果、ボーリング柱状図 | · · · · · P.9 |
| 5 添付資料 5 | ：新設男川浄水場負荷案集計表 | · · · · · P.26 |
| 6 添付資料 6 | ：取水場位置図 | · · · · · P.27 |
| 7 添付資料 7 | ：管理棟平面図案 | · · · · · P.28 |
| 8 添付資料 8 | ：必要諸室の仕様及び備品 | · · · · · P.31 |
| 9 添付資料 9 | ：過去 5 年間の水質データ（原水） | · · · · · P.32 |
| 10 添付資料 10 | ：場外施設等の点検頻度と点検内容 | · · · · · P.68 |
| 11 添付資料 11 | ：計装監視対象施設一覧 | · · · · · P.71 |
| 12 添付資料 12 | ：男川浄水場廻り既設導水・送水・配水管ルート図 | · · P.73 |
| 13 添付資料 13 | ：男川浄水場廻り既設汚水配管ルート図 | · · · · · P.76 |
| 14 添付資料 14 | ：ユーティリティ一分担表 | · · · · · P.79 |

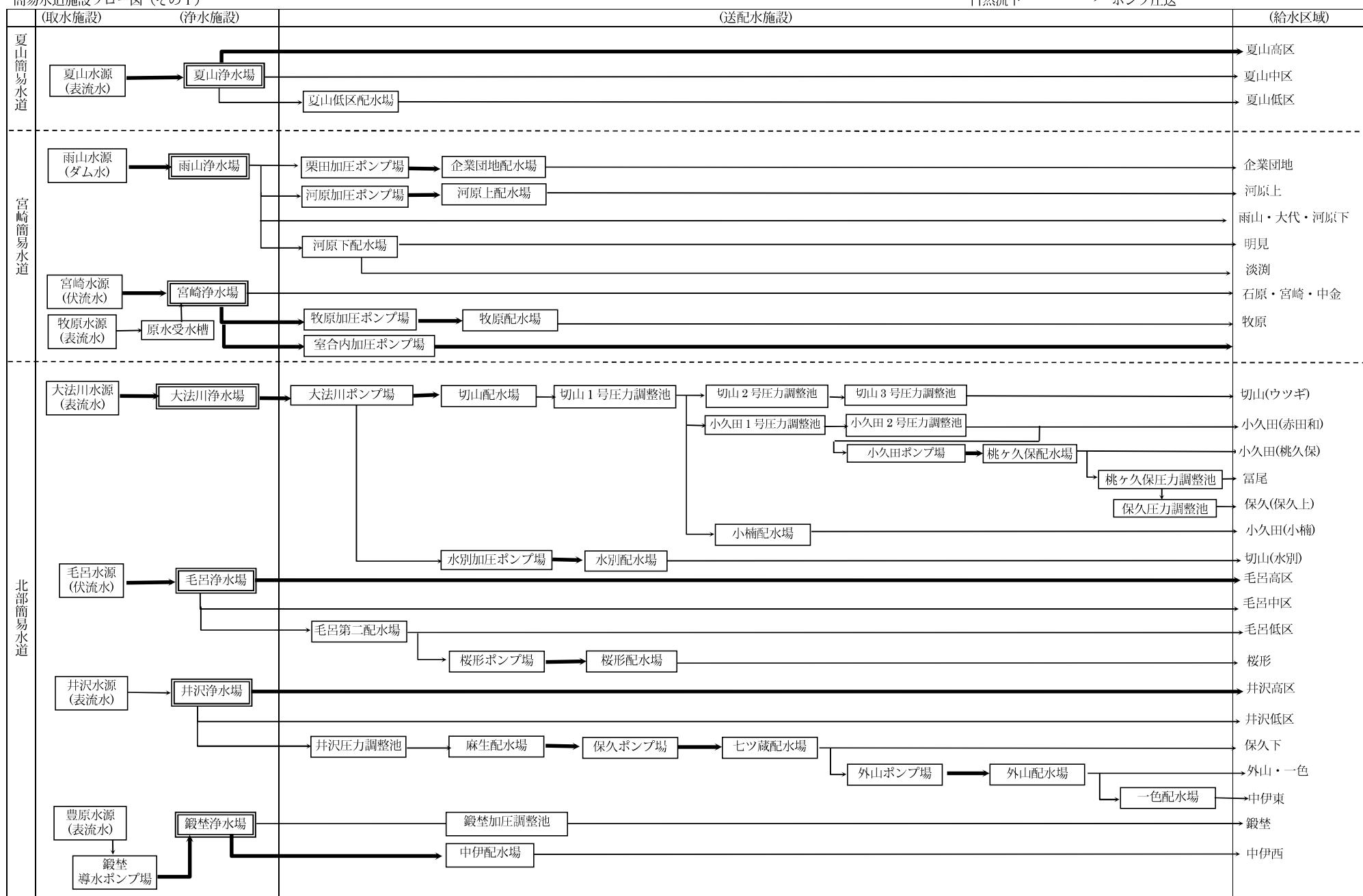
添付資料1 施設位置図





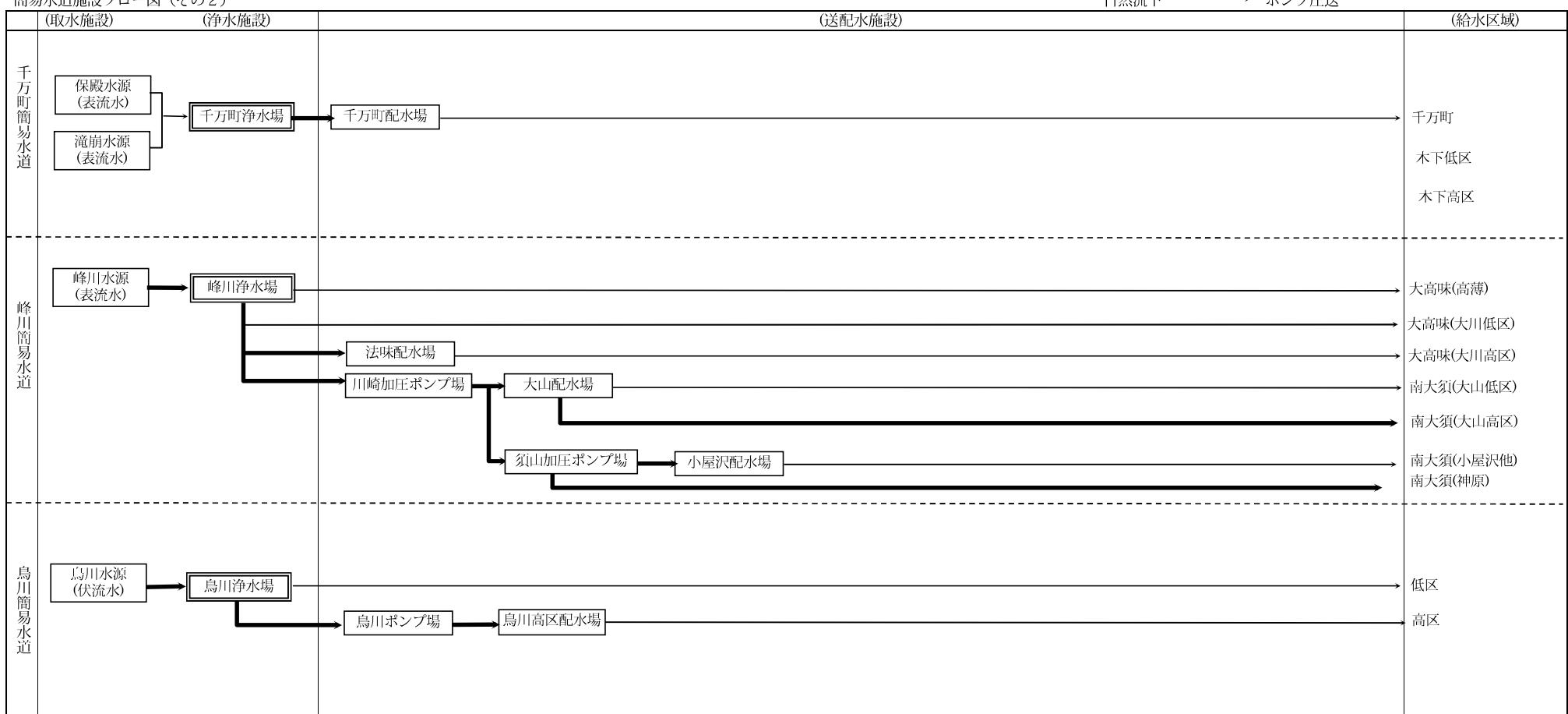


簡易水道施設フロー図（その1）



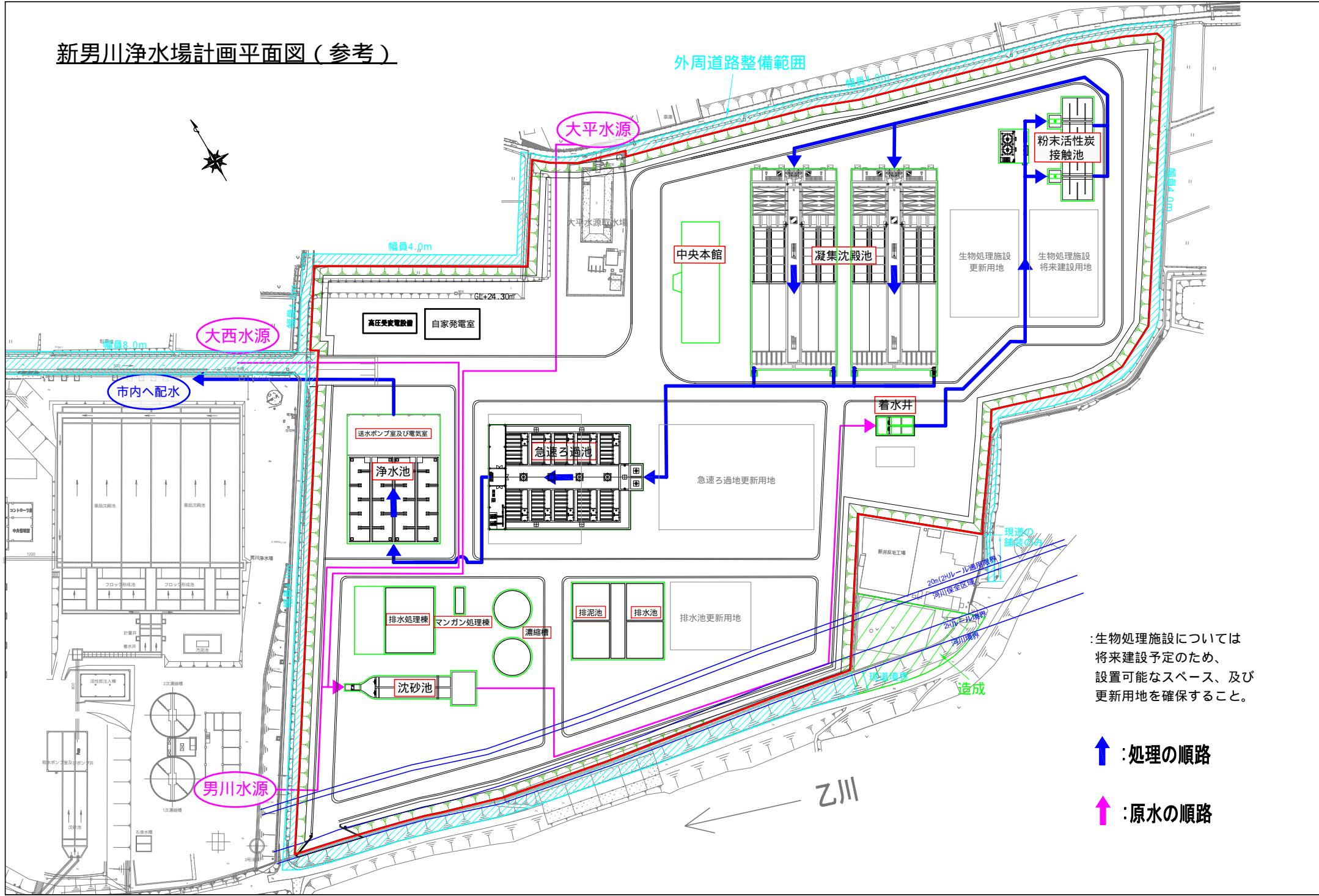
休止 明見配水場、室合内浄水場、保久浄水場

簡易水道施設フロー図（その2）

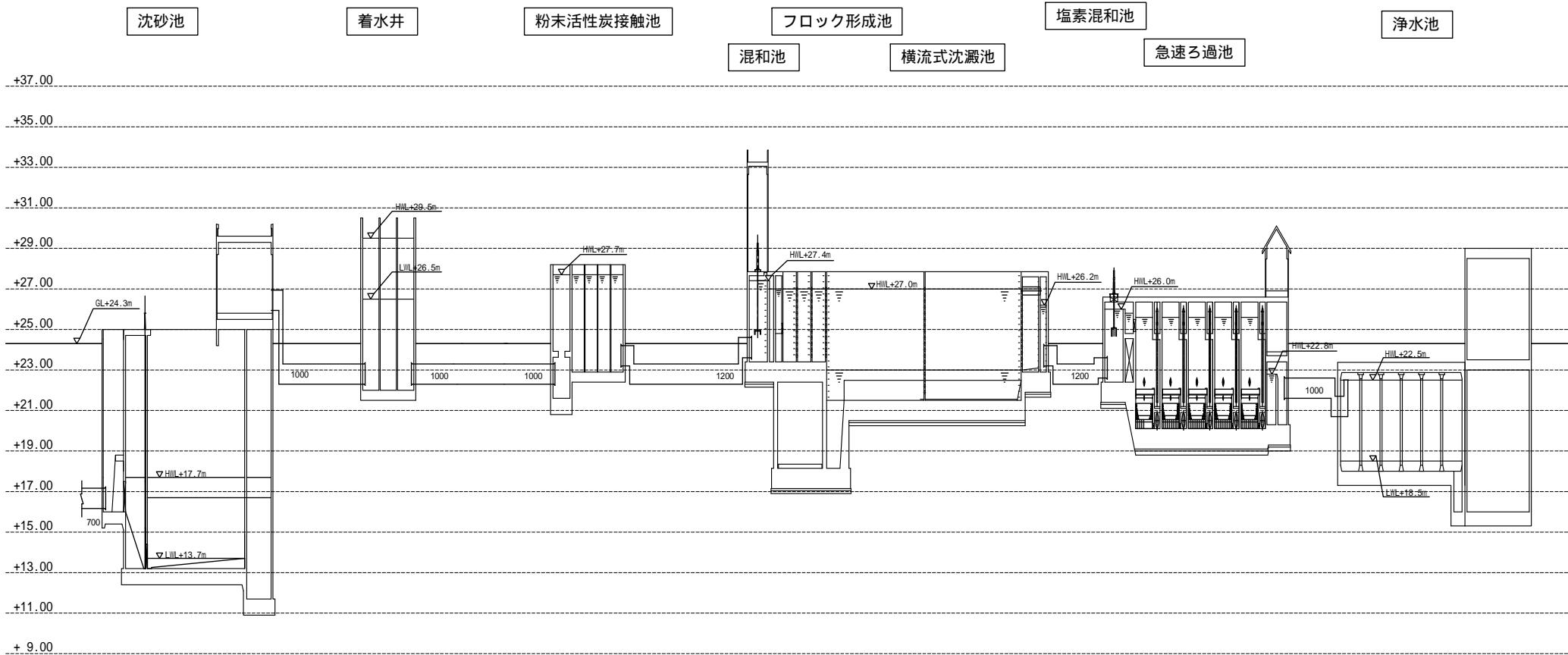


休止 木下第2配水場、木下加圧ポンプ場、木下配水場

新男川浄水場計画平面図（参考）



水位高低図
V=1:100
H=1:500



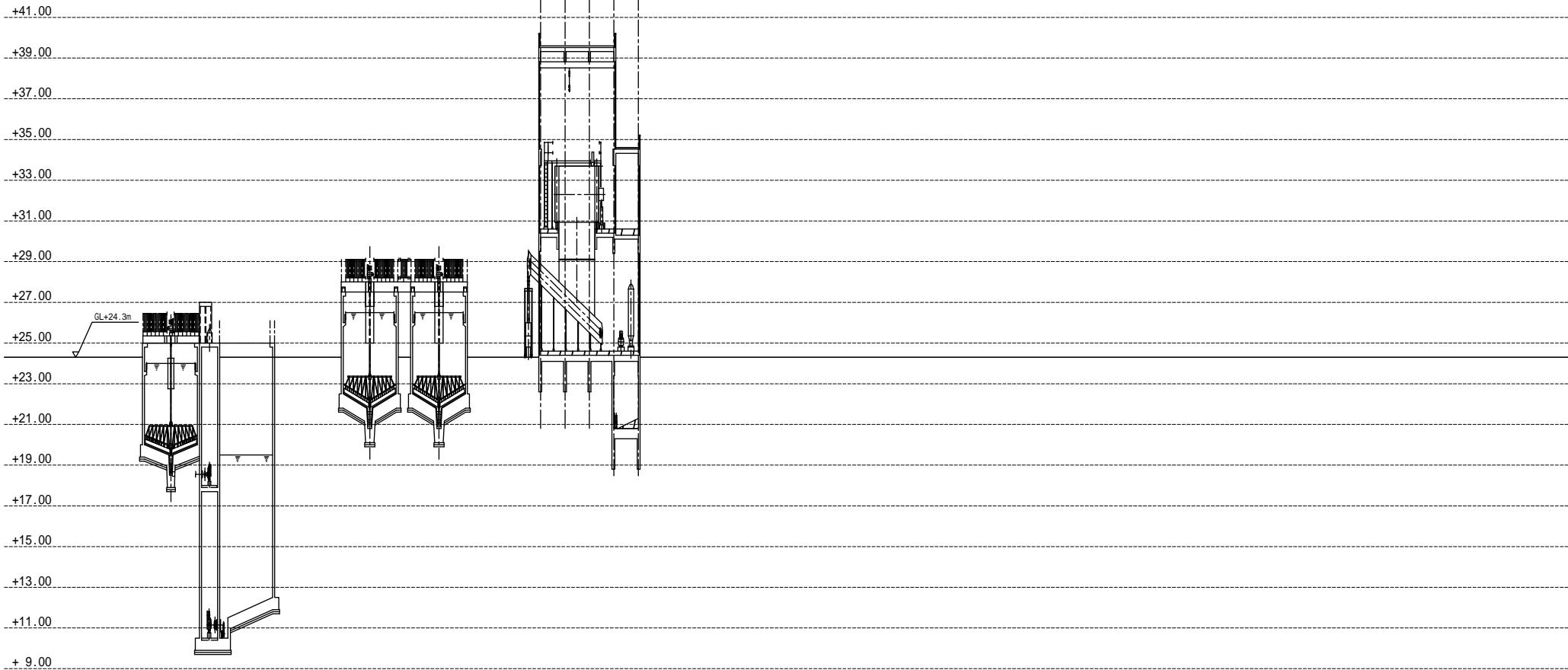
:生物処理施設については将来建設予定とするため、
本事業で設定したアンモニア態窒素の低減が可能な
全ての方式が追加設置可能な水位高低を確保すること。

男川浄水場更新工事	
図名	水位高低図
起工番号	縮尺 V=1/100 H=1/500
図面番号	製図年月日

岡崎市水道局

水位高低図
V=1:100
H=1:500

汚泥池 汚水池 濃縮槽 脱水機棟

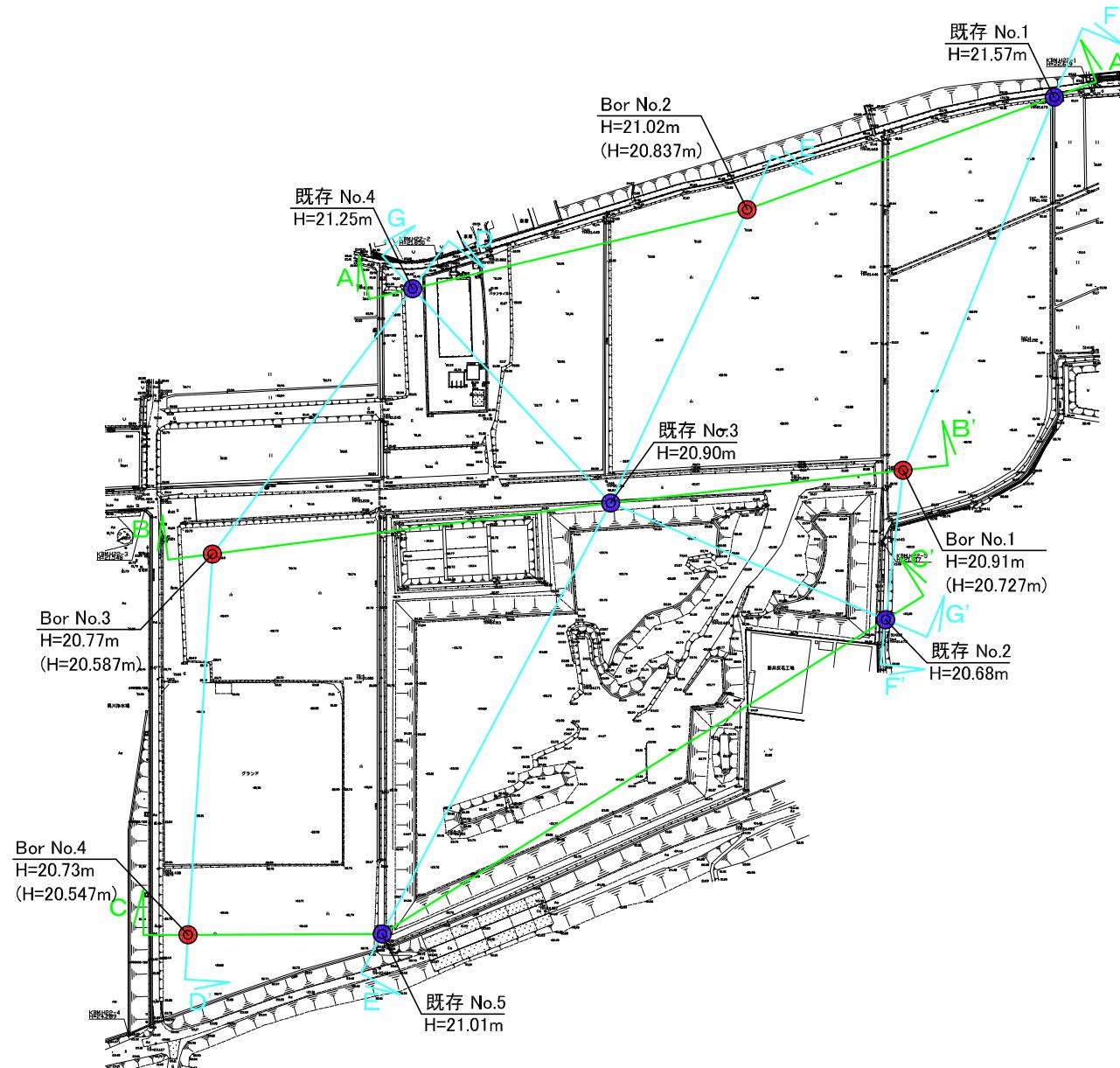


男川浄水場更新工事	
図名	水位高低図
起工番号	縮尺 V=1/100 H=1/500
図面番号	製図年月日

岡崎市水道局

断面線図

Scale: 1/1,500



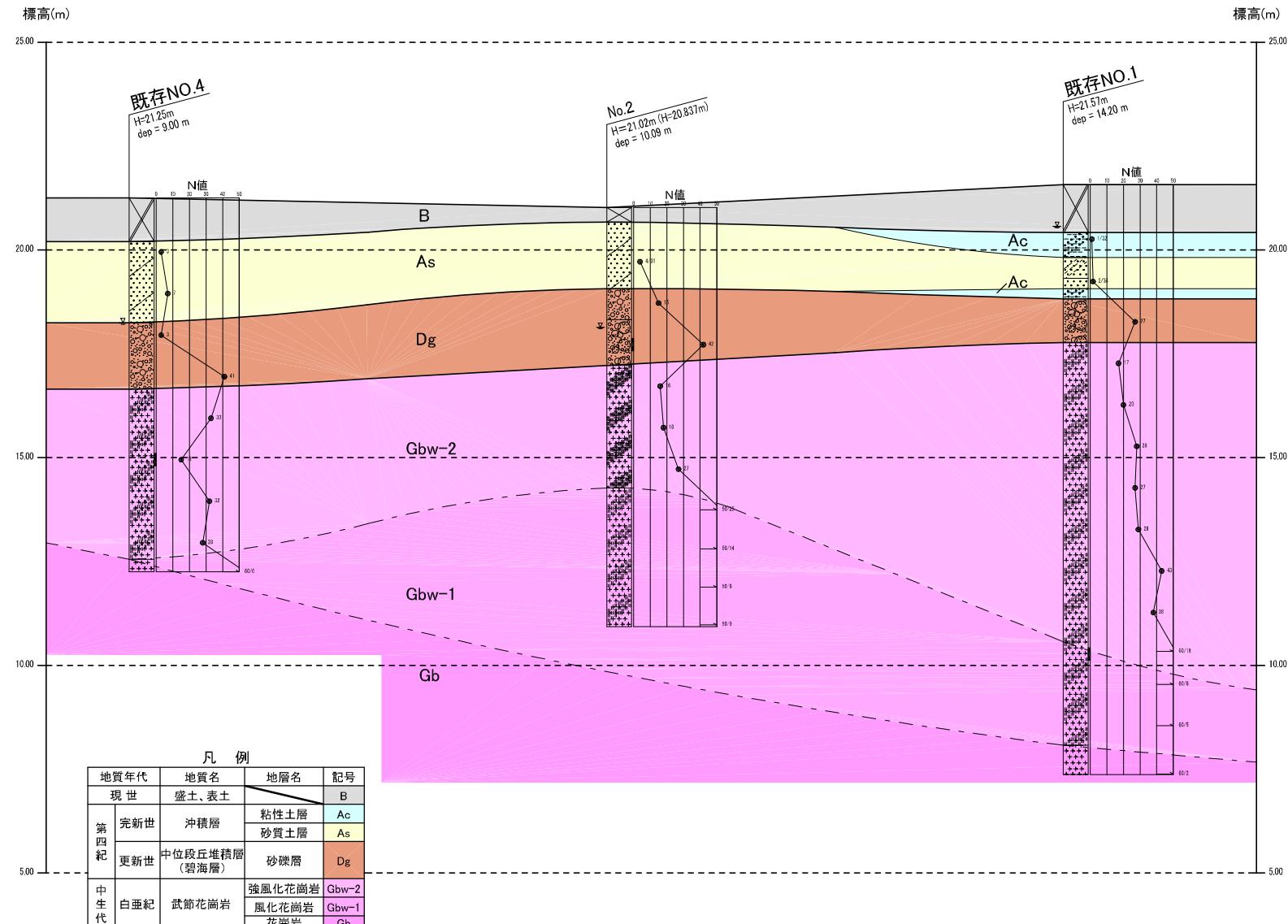
凡 例	
●	: 今回ボーリング位置
○	: 既存ボーリング位置
—	: 断面線

※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

地質推定断面図

Scale : H=1/1,000, V=1/100

A-A'断面



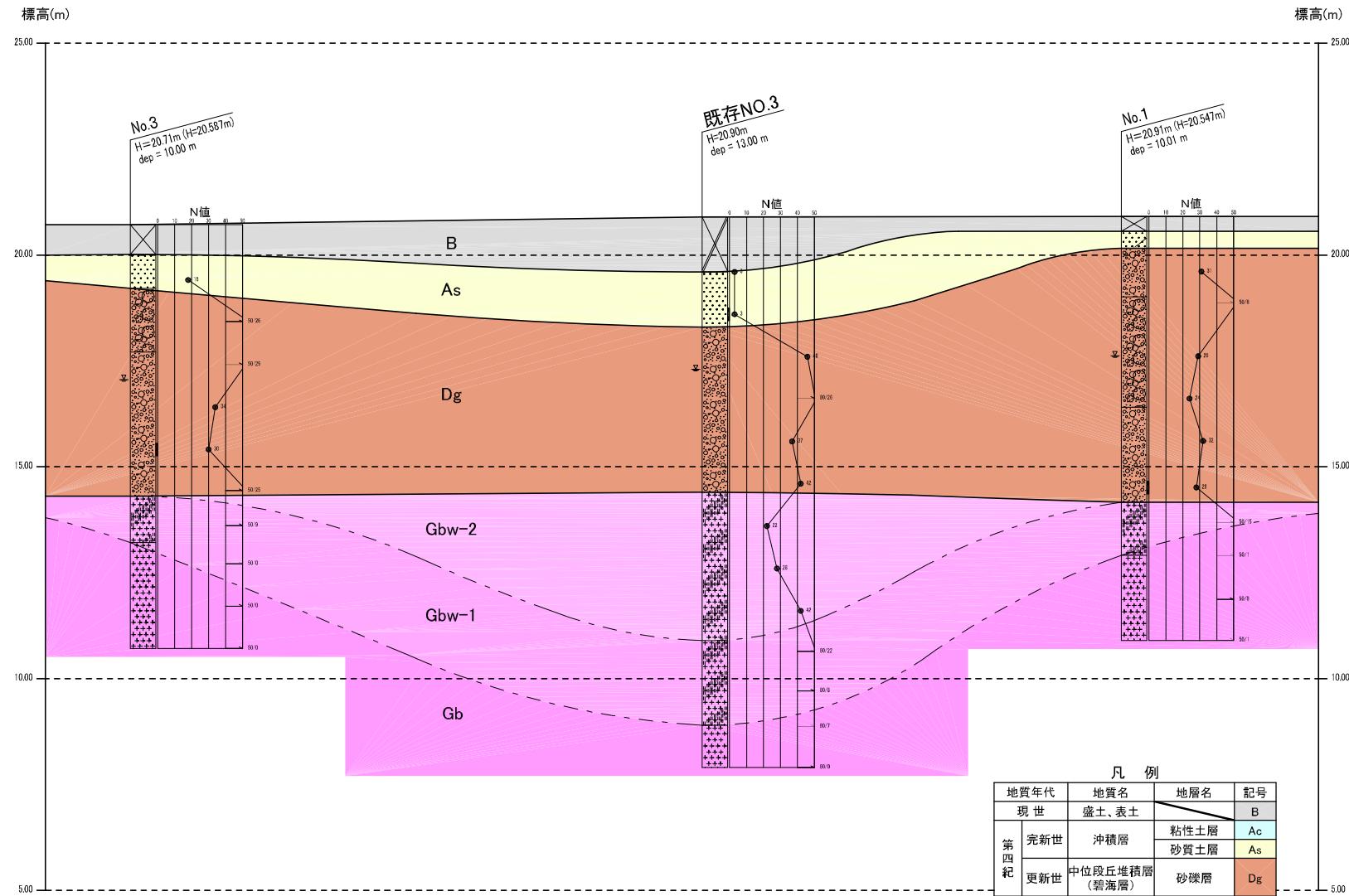
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale : H=1/1,000, V=1/100

B-B'断面



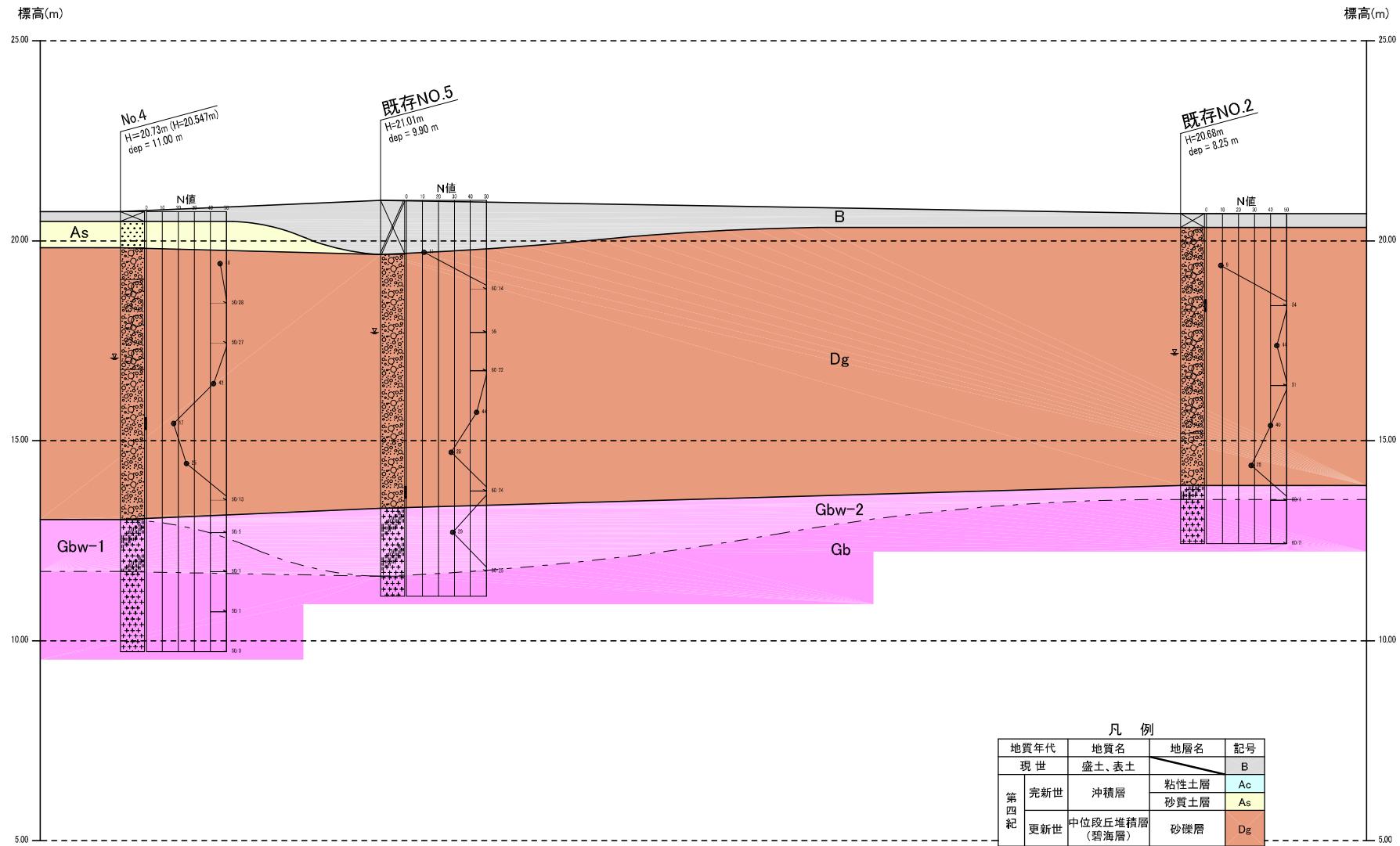
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale : H=1/1,000, V=1/100

C-C'断面



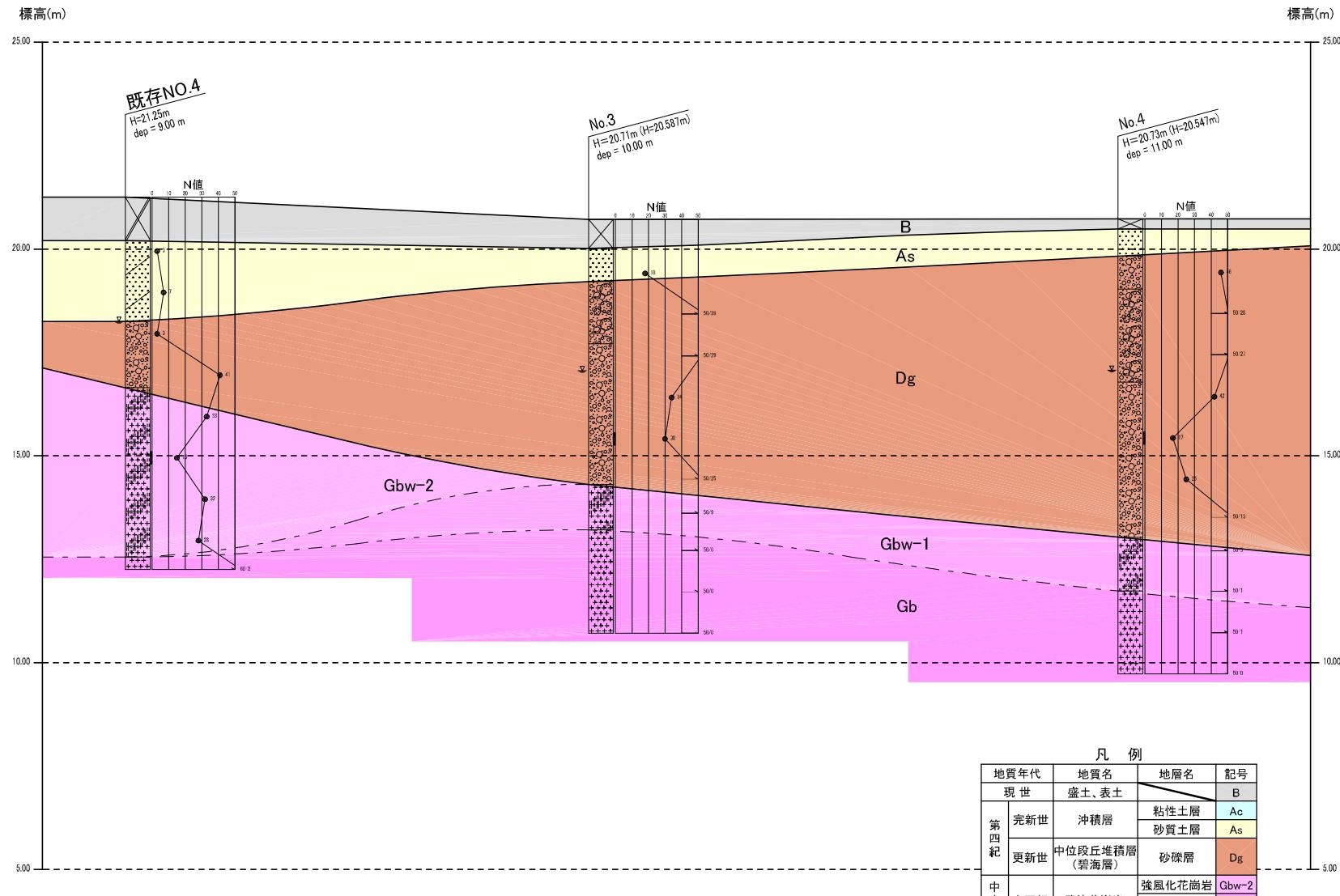
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale : H=1/1,000, V=1/100

D-D'断面



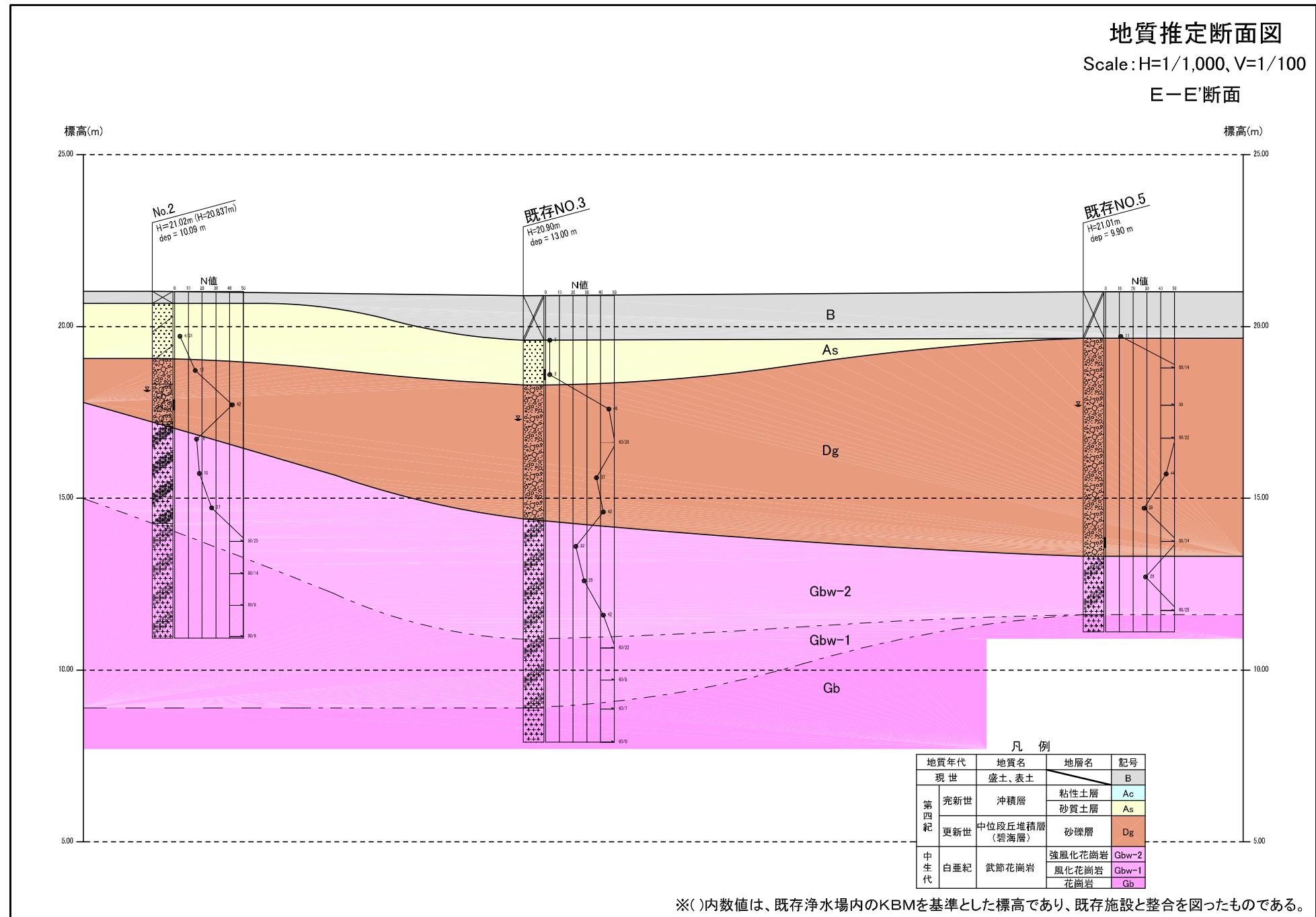
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale : H=1/1,000, V=1/100

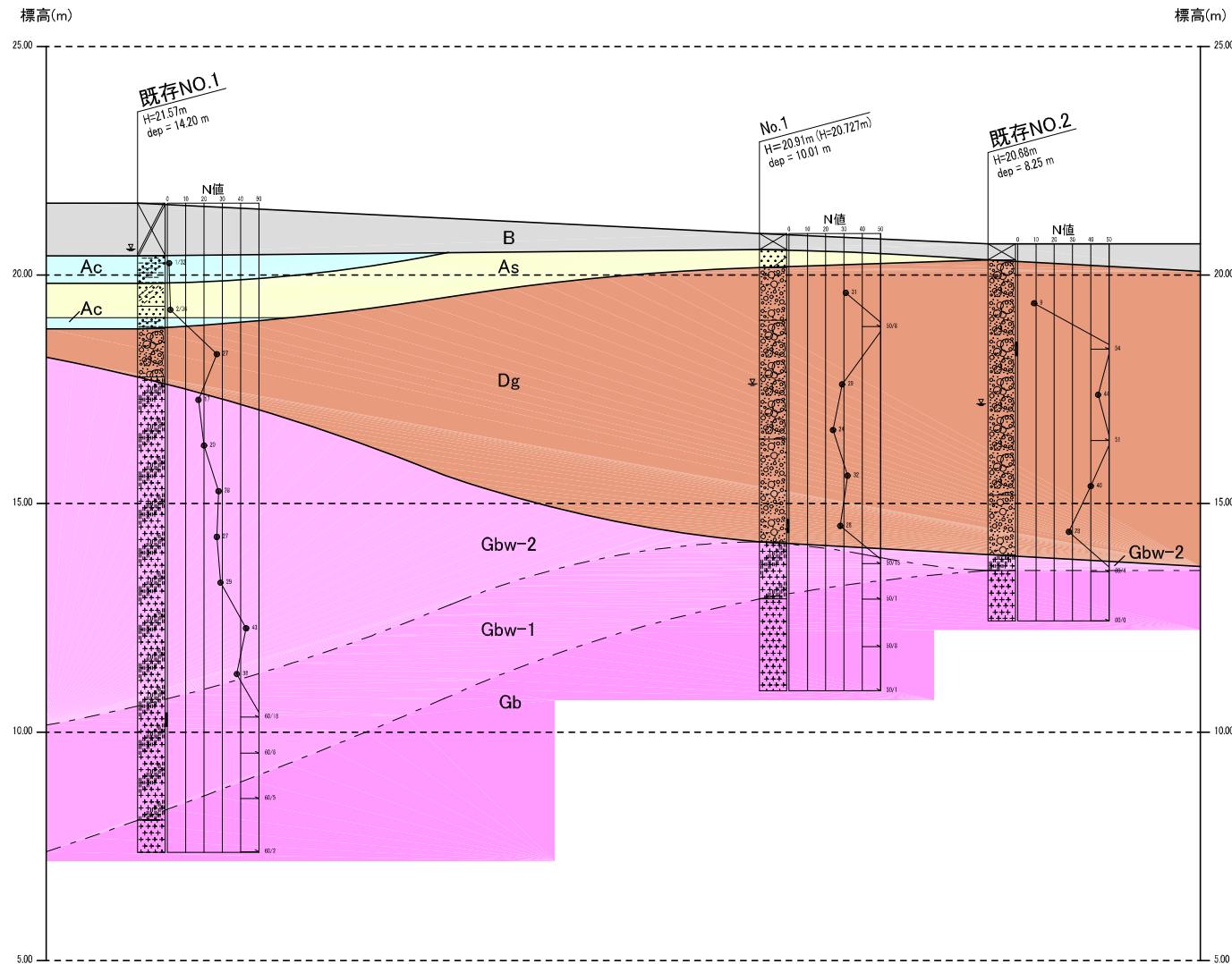
E-E'断面



地質推定断面図

Scale : H=1/1,000, V=1/100

F-F'断面

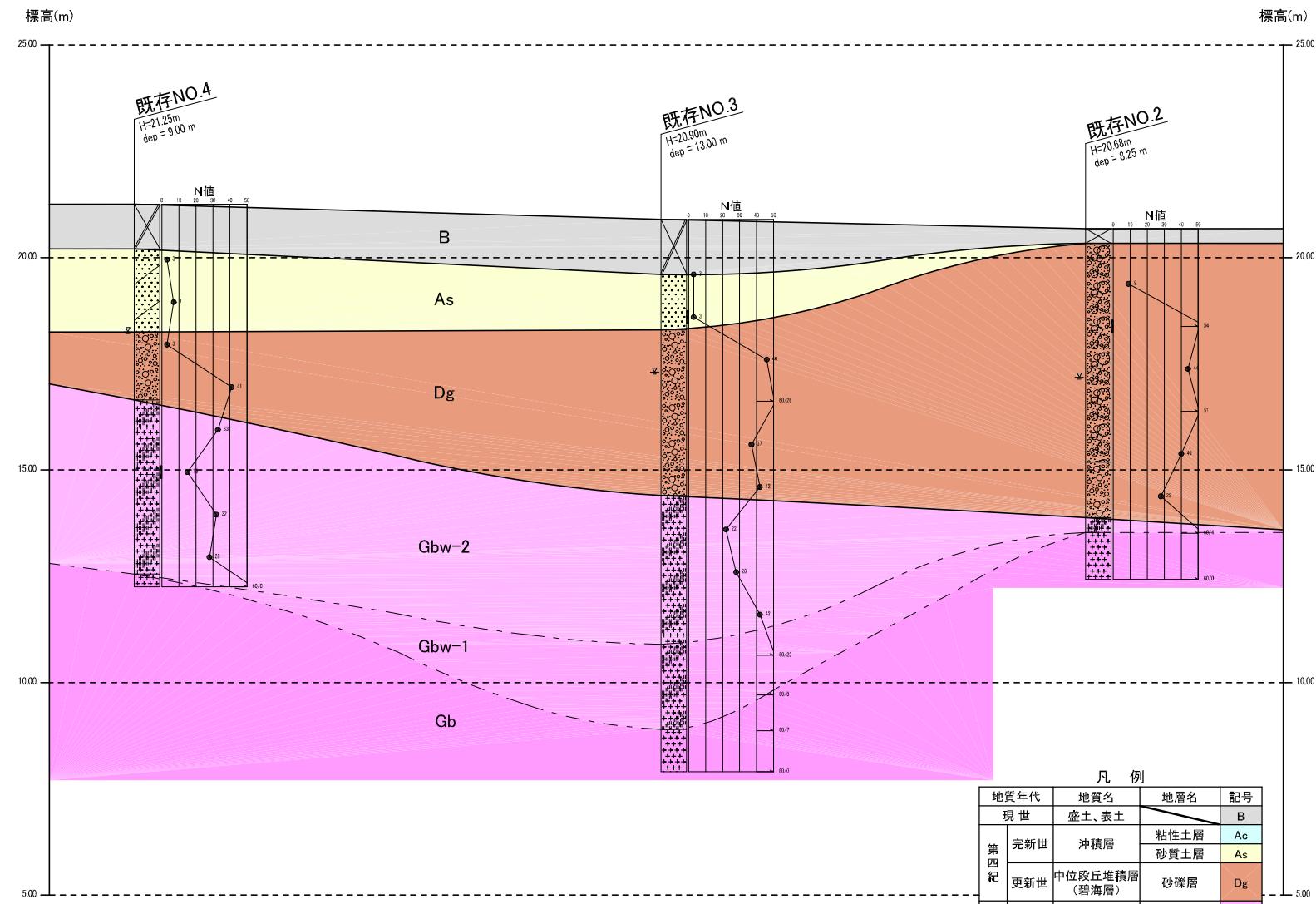


ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale : H=1/1,000, V=1/100

G-G'断面



ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

ボーリング柱状図

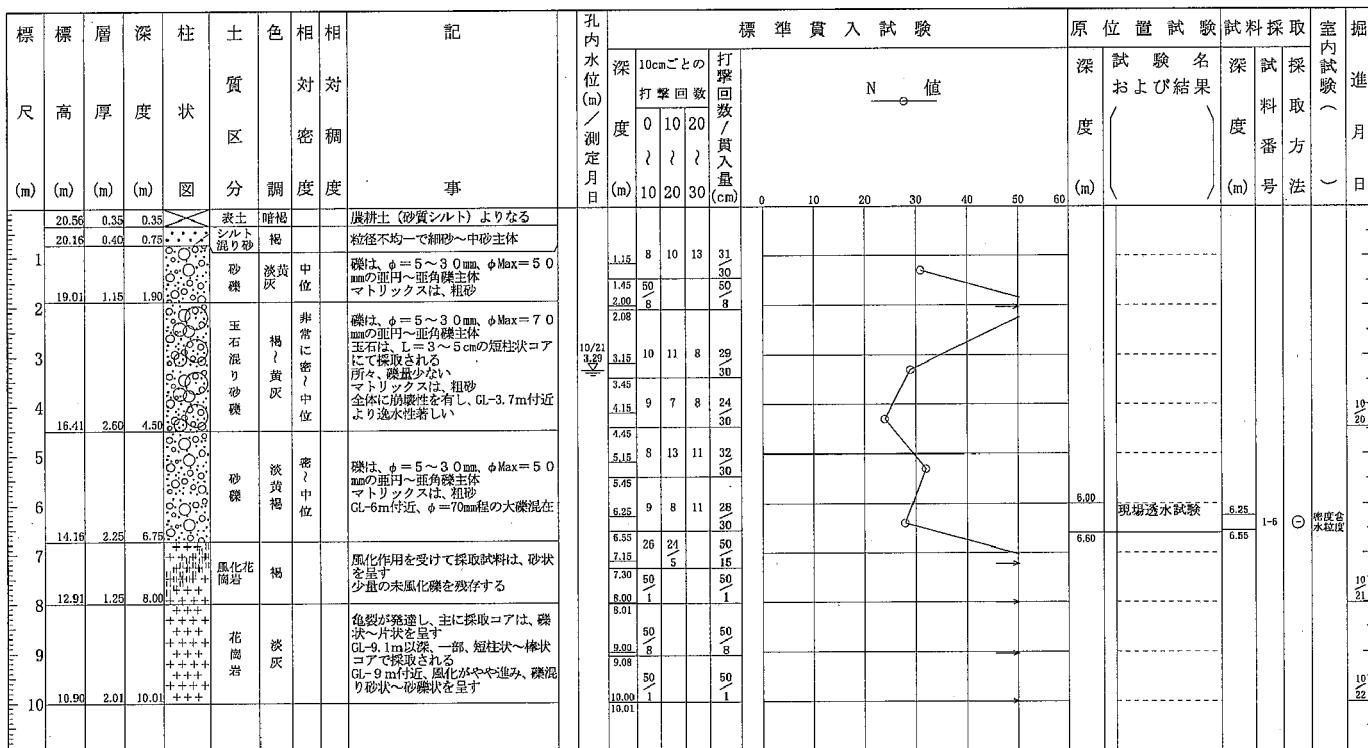
調査名 男川浄水場更新基本設計業務委託

ボーリングNo. []

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	N o. 1	調査位置	岡崎市大平町地内						北緯	34° 56' 6.1"	
発注機関	岡崎市水道局						調査期間	平成 22年 10月 20日 ~ 22年 10月 22日		東経	137° 11' 30"
調査業者名	主任技師 []						現場理人	口ア []	ボーリング鑑定者 []	責任者 []	
孔口標高	H=20.91m (H=20.727m)	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 270° 西 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 90°	使用機種	試錐機 YBM-05 エンジン ヤンマー NF D-9	ハンマー落下用具 ポンブ	半自動落下装置 G P-5
総掘進長	10.01m										



※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング柱状図

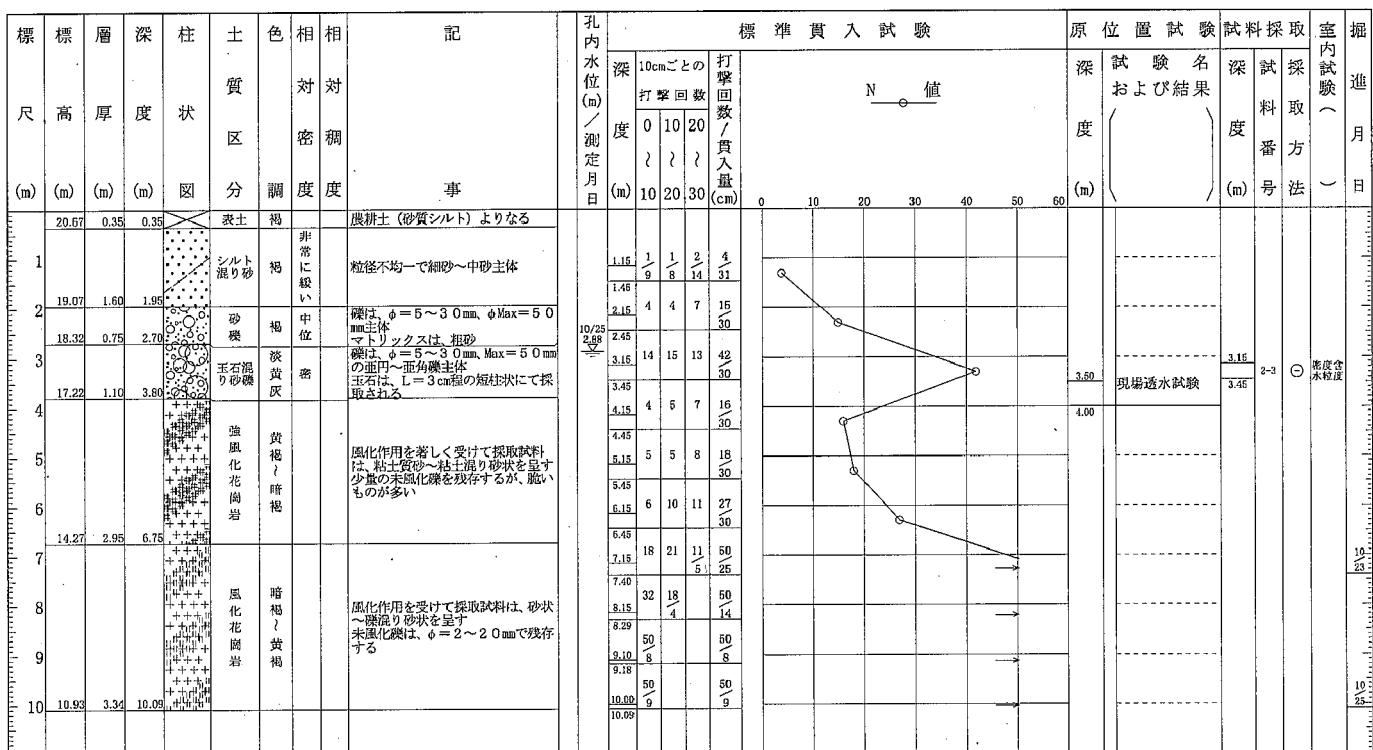
調査名 男川浄水場更新基本設計業務委託

ボーリングNo. []

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2			調査位置	岡崎市大平町地内						北緯	34° 56' 9.2"
発注機関	岡崎市水道局						調査期間	平成 22年 10月 22日 ~ 22年 10月 25日			東経	137° 11' 31.5"
調査業者名	主任技師						現代理人	コア	ア	[]	ボーリング	[]
孔口標高	(H=21.02m (H=20.837m))	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直	水平	試錐機	YBM-0.5	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	10.09m								エンジン	ヤンマー NFD-9	ポンブ	GP-5



※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング柱状図

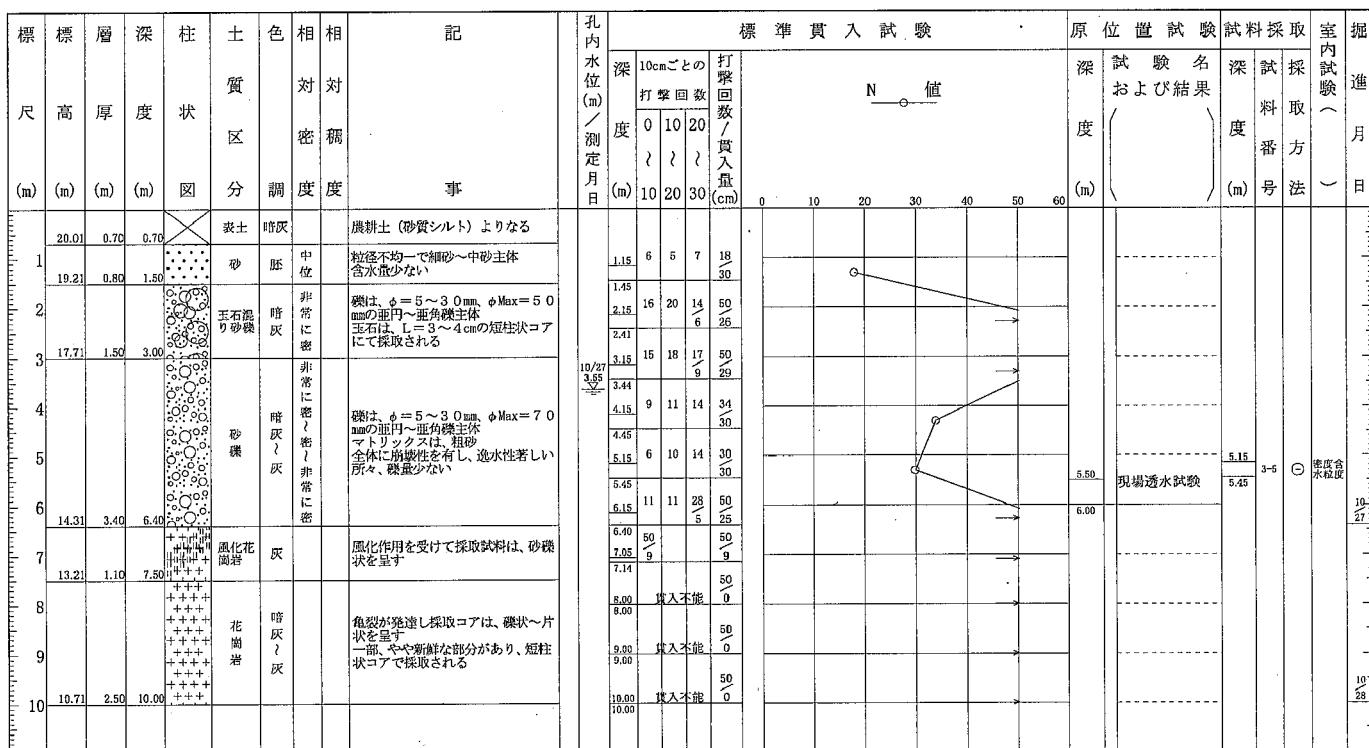
調查名 男川淨水場更新基本設計業務委託

ボーリングNo. |

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 3	調査位置	岡崎市大平町地内				北 緯	34° 56' 9.4"	
発注機関	岡崎市水道局				調査期間	平成 22年 10月 27日 ~ 22年 10月 28日		東 経	137° 11' 21.5"
調査業者名				主任技師			現代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	H=20.77m (H=20.587m)	角度	180° 上 90° 下 0° 向	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直0°	使用機種	試錐機 YBM-05 ハンマー落下用具 半自動落下装置
総掘進長	10.00m							エンジン ヤンマー NF D-9 ポンプ	カノV-6



※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング柱状図

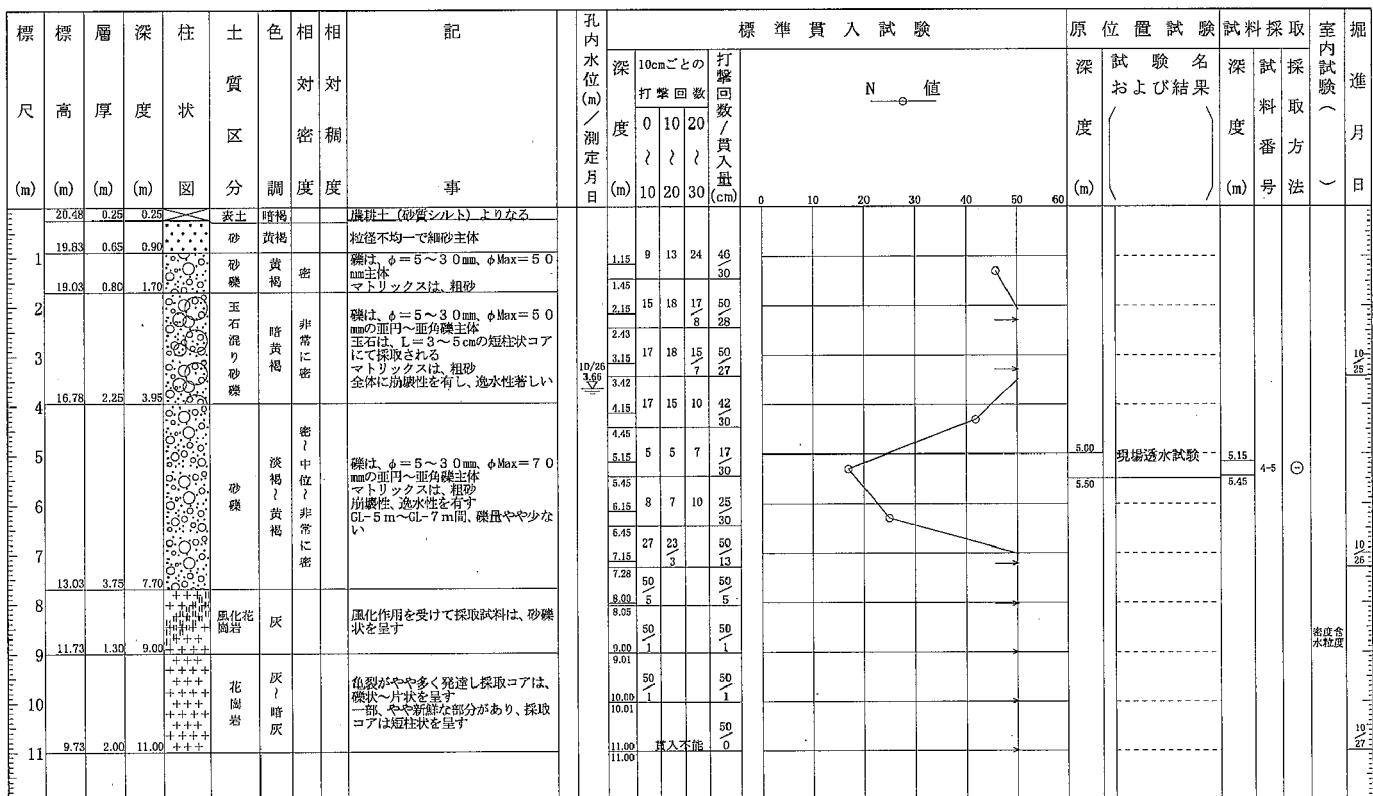
調査名 男川浄水場更新基本設計業務委託

ボーリングNo. [REDACTED]

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 4			調査位置	岡崎市大平町地内							北緯	34° 56' 6.6"
発注機関	岡崎市水道局							調査期間	平成 22年 10月 25日 ~ 22年 10月 27日			東経	137° 11' 19.5"
調査業者名	主任技師 [REDACTED]							現場代理人	ア [REDACTED]	ア [REDACTED]	ア [REDACTED]	ボーリング責任者	[REDACTED]
孔口標高	H=20.73m (h=20.547m)	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 270° 西 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 90°	使用機種	試錐機 YBM-05	ハンマー落下用具	半自動落下装置		
総掘進長	11.00m							エンジン	ヤンマー NFD-9	ポンブ	G P-5		



※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング柱状図

調査名											河川原水道基盤池基本設計業務		ボーリングNo. 27-12-12 N T				
測定・工事記録											シートNo.						
ボーリング名	N O. 1			調査位置		愛知県岡崎市大平町地内					北緯	34° 55' 56.9"					
発注機関	岡崎市水道局					調査期間		平成10年12月16日～10年12月17日			東經	137° 11' 44.1"					
調査業者名	主任技師			現場理人		コア鑑定者	ボーリング責任者										
孔口標高	H=21.57m	角度	180°上 下0°	方向	北0° 西270° 東90° 南180°	地盤勾配	鉛直90°	使用機種	試錐機	カノーKR-100	ハンマー落下用具	コーンブーリー法					
総掘進長	14.20m	度	14.20	向	180°	勾配	90°	エンジン	ヤンマーNFD-8	ポンプ	カノーヴ-6						
標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相	相対密	記	孔内水位(m)/測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験(月)	
(m)	(m)	(m)	(m)							深	打撃回数	N値	深度	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	
								事	度(m)	10cmごとの 打撃回数	貫入量(cm)	—○—	(m)			掘進日	
										0	10	20					
										1	2	3					
										2	3	4					
										5	6	7					
										8	9	10					
										11	12	13					
										14	15	16					
										17	18	19					
										20	21	22					
										23	24	25					
										26	27	28					
										29	30	31					
										32	33	34					
										35	36	37					
										38	39	40					
										41	42	43					
										44	45	46					
										47	48	49					
										50	51	52					
										53	54	55					
										56	57	58					
										59	60	61					
										62	63	64					
										65	66	67					
										68	69	70					
										71	72	73					
										74	75	76					
										77	78	79					
										80	81	82					
										83	84	85					
										86	87	88					
										89	90	91					
										92	93	94					
										95	96	97					
										98	99	100					
										101	102	103					
										104	105	106					
										107	108	109					
										110	111	112					
										113	114	115					
										116	117	118					
										119	120	121					
										122	123	124					
										125	126	127					
										128	129	130					
										131	132	133					
										134	135	136					
										137	138	139					
										140	141	142					
										143	144	145					
										146	147	148					
										149	150	151					
										152	153	154					
										155	156	157					
										158	159	160					
										161	162	163					
										164	165	166					
										167	168	169					
										170	171	172					
										173	174	175					
										176	177	178					
										179	180	181					
										182	183	184					
										185	186	187					
										188	189	190					
										191	192	193					
										194	195	196					
										197	198	199					
										200	201	202					
										203	204	205					
										206	207	208					
										209	210	211					
										212	213	214					
										215	216	217					
										218	219	220					
										221	222	223					
										224	225	226					
										227	228	229					
										230	231	232					
										233	234	235					
										236	237	238					
										239	240	241					
										242	243	244					
										245	246	247					
										248	249	250					
										251	252	253					
										254	255	256					
										257	258	259					
										260	261	262					
										263	264	265					
										266	267	268					
										269	270	271					
										272	273	274					
										275	276	277					
										278	279	280					
										281	282	283					
										284	285	286					
										287	288	289					
										290	291	292					
										293	294	295					
										296	297	298					
										299	300	301					
										302	303	304					
										305	306	307					
										308	309	310					
										311	312	313					
										314	315	316					
										317	318	319					
										320	321	322					
										323	324	325					
										326	327	328					
										329	330	331					
										332	333	334					
										335	336	337					
										338	339	340					
										341	342	343					
										344	345	346					
										347	348	349					
										350	351	352					
										353	354	355					
										356	357	358					
										359	360	361					
										362	363	364					

添付資料 4

ボーリング柱状図

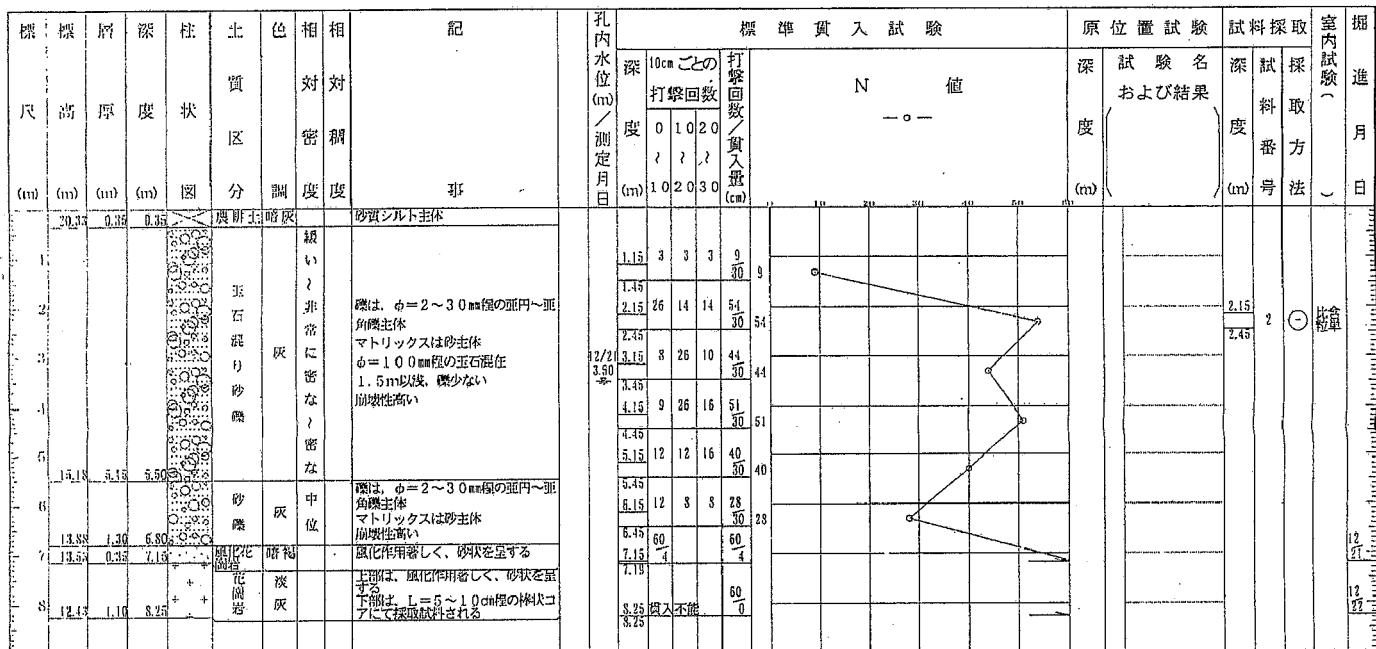
剖面 記述 名 那川原水道局 水質監査室 本設計士業務

ボーリングNo. 27-12-12NT

調査実施・巡回記名

シートNo.

ボーリング名	N O . 2	調査位置	愛知県岡崎市大平町 地内				北 緯	34° 55' 52.8"
発注機関	岡崎市水道局				調査期間	平成10年12月21日～10年12月22日		
調査業者名	主任技師				現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	20.5m	角度	ISG 上 90° 下 0° 向 180°	方位 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配 鉛直 90°	使用機種 試錐機 カノーKR-100 エンジン ヤンマーNFD-8	ハンマー落下用具 ポンプ ボンブ	コーンブーリー法 カノーヴ-6
総掘進長	8.25m							



添付資料 4

ボーリング柱状図

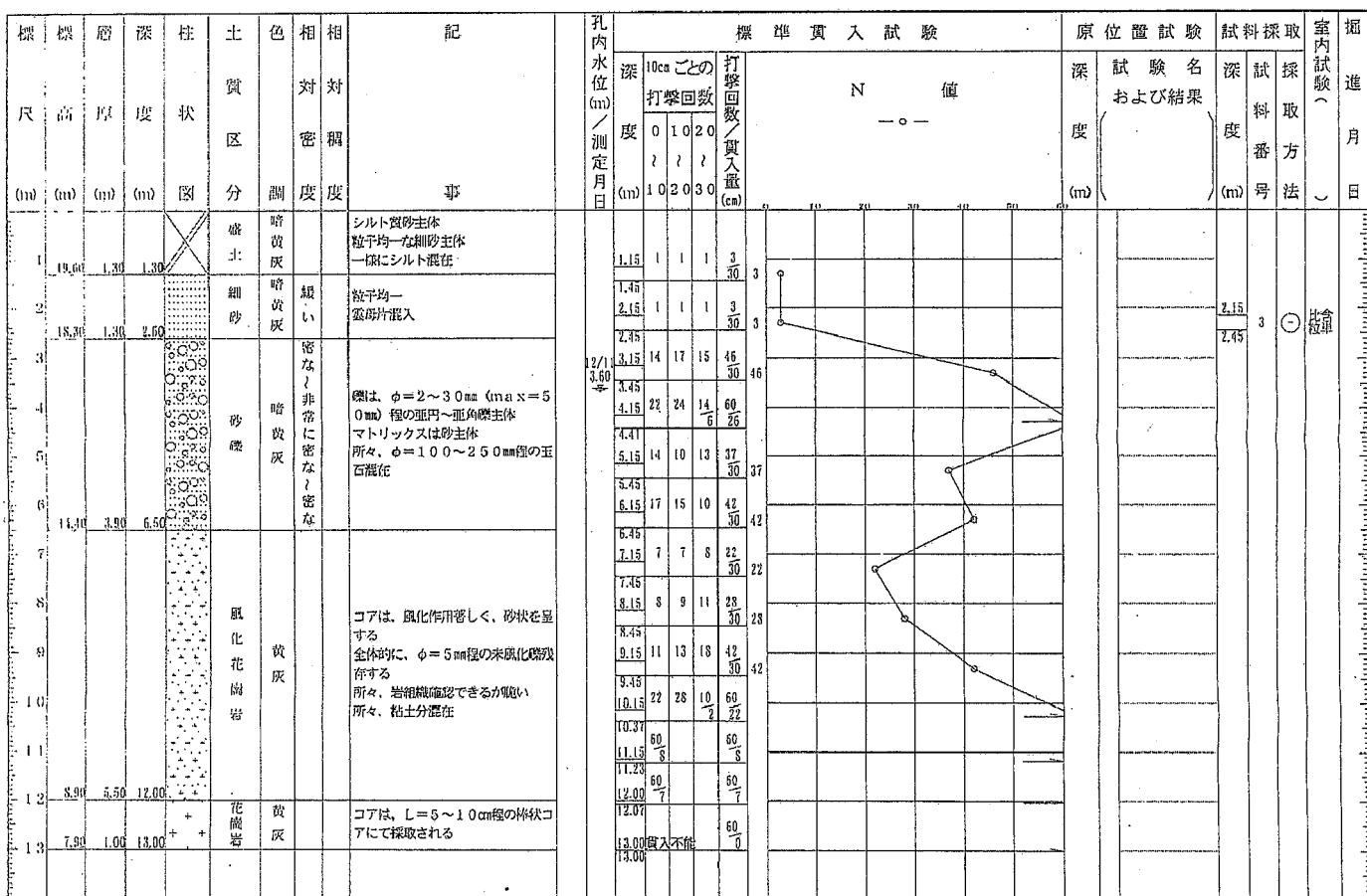
調査名 男川原水調査池基本設計業務

ボーリングNo. 2 7 - 1 2 - 1 2 N T

列傳卷二十一

シート50.

ポーリング名	N O . 3	調査位置	愛知県岡崎市大平町 地内				北 緯	34° 55' 55.6"		
発注機関	岡崎市水道局			調査期間	平成10年12月11日～10年12月14日		東 経	137° 11' 38.4"		
調査業者名		主任技師		現 場 代 理 人	コア 鑑 定 者		ポーリン グ責任者			
孔 口 標 高	II= 26.90m	角 度	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 90° 東	地盤勾配	水 平 0° 鉛直 90°	使 用 機 種	試 鋼 機 カノー K R - 1 0 0 ハンマー 落下用具	コーンブーリー法
総 挖 進 良	13.00m							エンジン ヤンマー N F D - 8 ポンプ	カノー V - 6	



添付資料 4

ボーリング柱状図

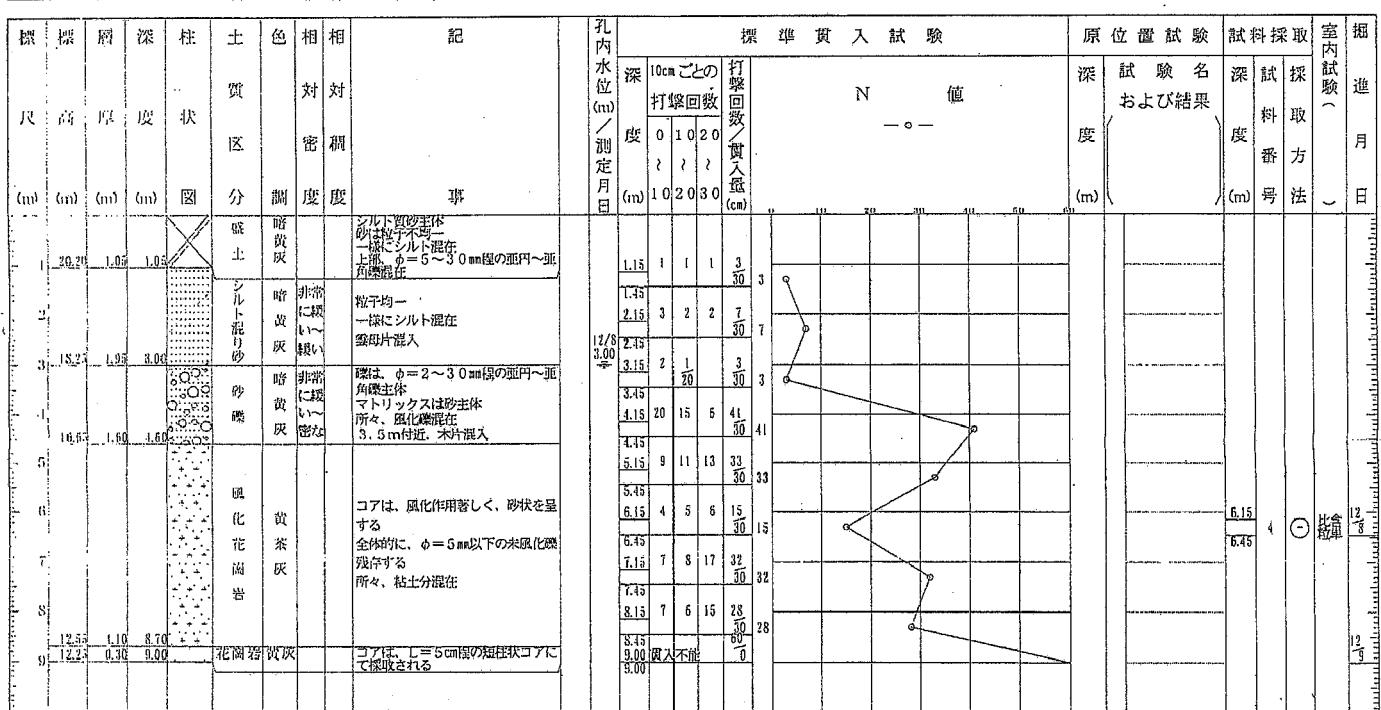
調査名 男川原水調整池基本設計業務

ボーリング No. 27-12-12-N-T

新編·卷之三

シートNo.

ボーリング名	N O . 4		調査位置	愛知県岡崎市大平町地内				北 緯	34° 55' 59.1"		
発注機関	岡崎市水道局				調査期間	平成10年12月8日~		年 月 日	東 經	137° 11' 37.3"	
調査業者名			主任技師	現代理人		コア鑑定者			ボーリング責任者		
孔口標高	21.25m	角	180° 上	方	北 0° 270° 西	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機 カノーケーR-100	ハンマー落下用具	コーンブーリー法
総掘進長	9.00m	下	90°	東	180° 南			エンジン	ヤンマーNF D-8	ポンプ	カノーヴ-6



添付資料4

ボーリング柱状図

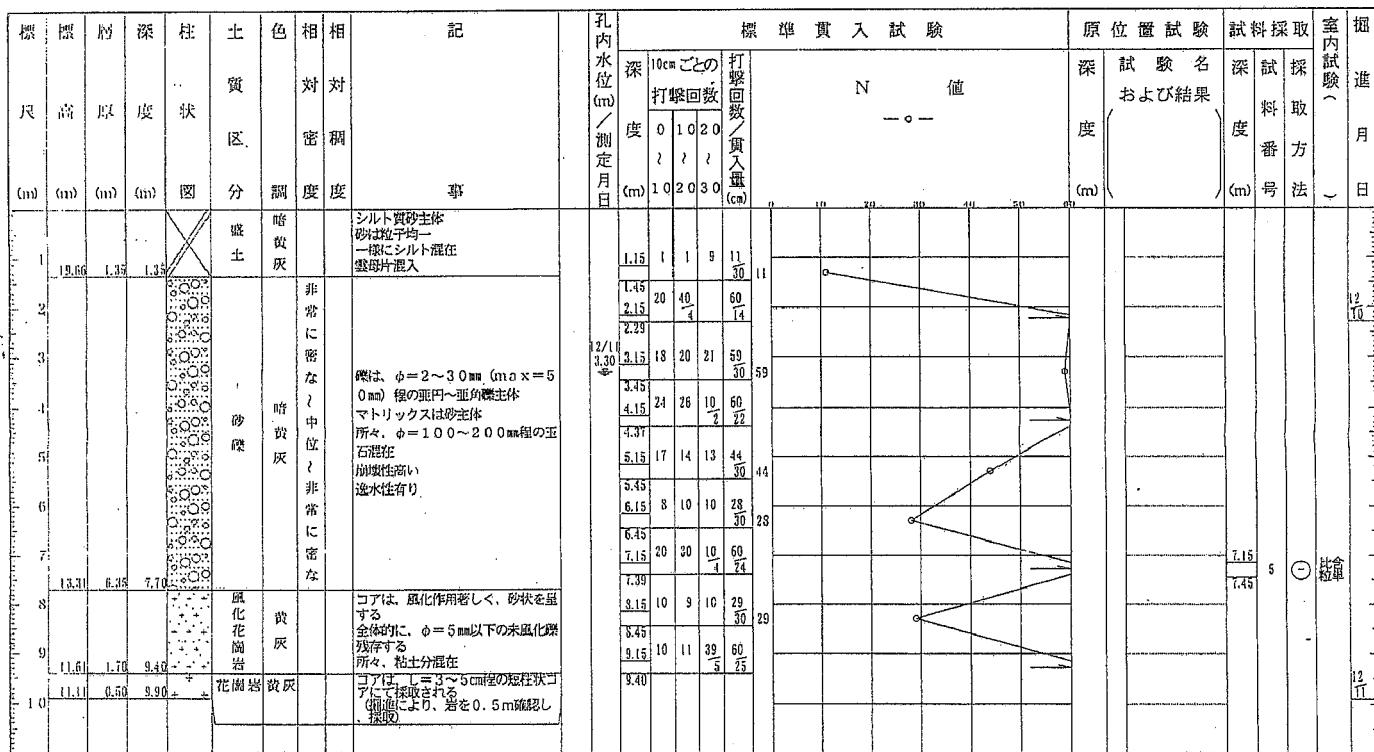
調査名 男川原水調整池基本設計業務

ボーリングNo. 27-12-12

調査年・工事名

シートNo.

ボーリング名	N O . 5	調査位置	愛知県岡崎市大平町 地内						北 緯	34° 55' 53.5"	
発注機関	岡崎市水道局						調査期間	平成10年12月10日～10年12月11日			
調査業者名	主任技師						現場理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	21.01m	角度	180° 上 90° 下 0° 向 180° 南	方 北 0° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 カノー K R - 1 0 0 エンジン ヤンマー N F D - 8	ハンマー落下用具 ポンプ	コーンブーリー法 カノーヴ - 6	
総掘進長	9.90m										



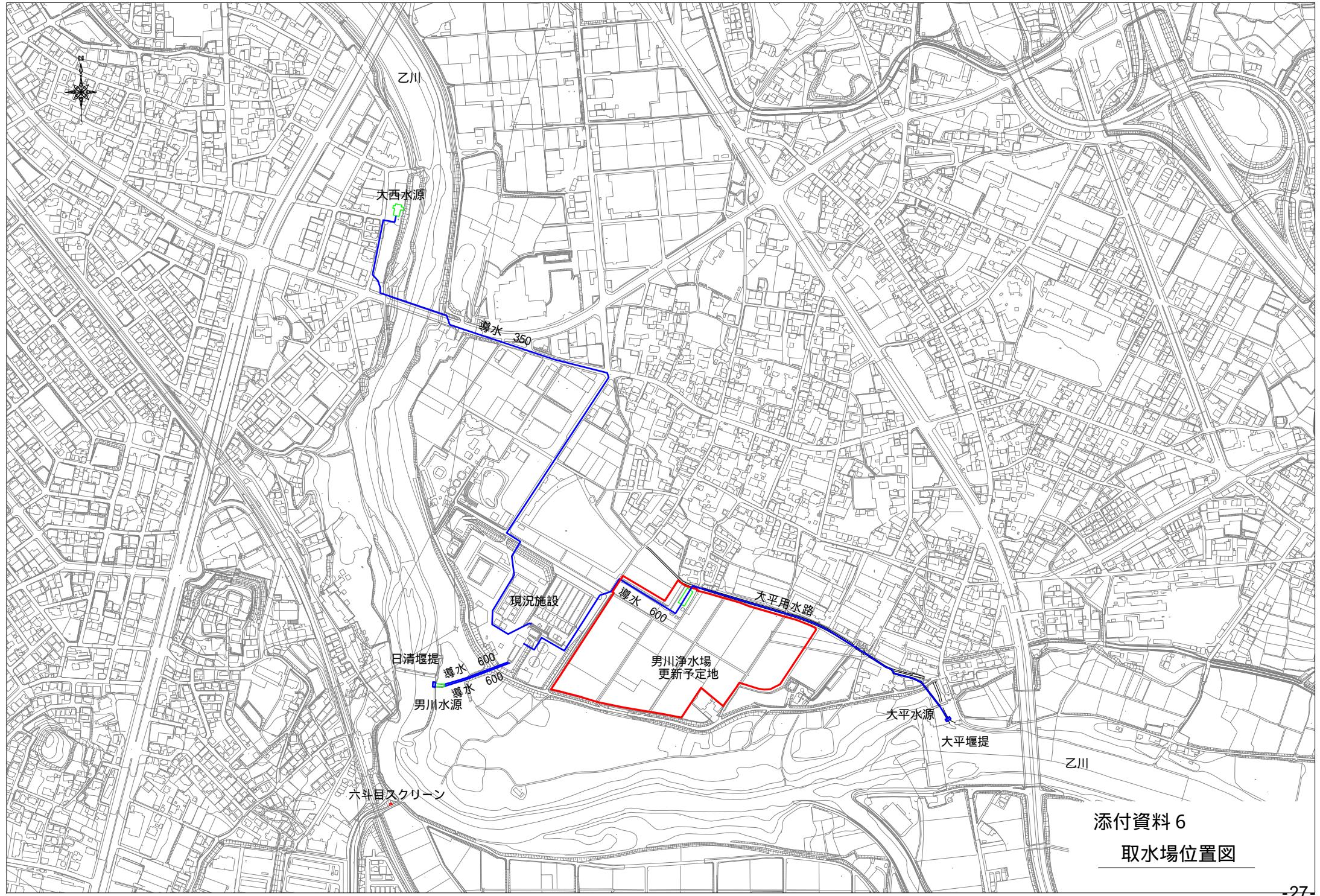
添付資料5

男川浄水場負荷集計表

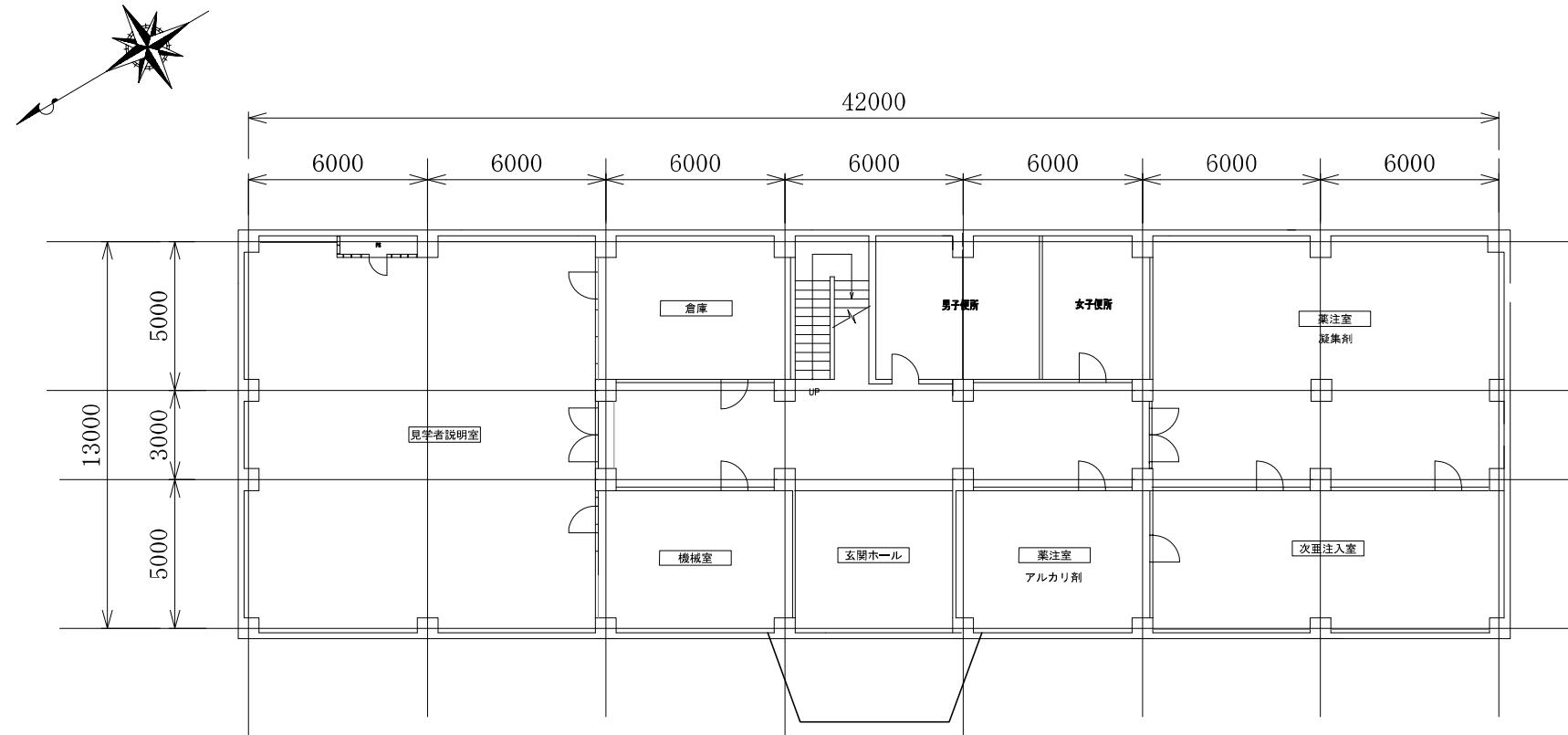
設備名称	電圧	単機容量	買電対象負荷								自家発電対象負荷 (暫定)	備 考		
			暫定				将来							
			常用		予備		常用		予備					
			台数	容量	台数	容量	台数	容量	台数	容量				
送水ポンプ(大西・根石)	3.3K	132	5	660	1	132	3	396	1	132	5	528.0 0.8		
送水ポンプ(根石)	3.3K						2	180	1	90	2			
送水ポンプ(男川→本宿)	3.3K	200	1	200	1	200					1	160.0 0.8		
送水ポンプ(男川→美合)	3.3K						1	280	1	280	1			
導水ポンプ	3.3K	90	3	270	1	90	3	270	1	90	1	270.0 1.0		
生物処理空洗ポンプ			1	49.4							1	34.6 0.7		
沈殿池引抜ポンプ														
動力付属盤	210			11.95							6.0	0.5		
緩速攪拌機主幹盤	210	0.75	4	3			4	3			2.4	0.8		
緩速攪拌機盤	210	21.15	4	84.6							42.3	0.5		
採水ポンプ盤	210	0.4	2	0.8							0.24	0.3		
動力低圧盤	210			35.15							17.6	0.5		
ろ過池操作盤	210			20							4.0	0.2		
クラリファイヤー制御盤	210			15.4							4.6	0.3		
薬品注入機盤	210			6.26							3.1	0.5		
送水ポンプ操作盤	210			4.95							1.5	0.3		
空気圧縮機盤	210	7.5	1	7.5							3.8	0.5		
除塵機盤	210			6.75							3.4	0.5		
フロック形成池盤	210			105.75							42.3	0.4		
その他	210			176.45							70.6	0.4		
整流器盤	210			10							4.0	0.4		
電灯主幹盤	105			30							9.0	0.3		
照明用低圧盤	105			75							22.5	0.3		
排水池返送ポンプ	210		2	44	1	22					22.0	0.5		
排泥池引抜ポンプ他	210		1	2.2	1	2.2					1.1	0.5		
濃縮槽引抜ポンプ等	210		1	3.7	1	3.7					1.9	0.5		
脱水施設	210							66.2			33.1	0.5		
計											1287.9			

注：①上記は、当面更新するポンプ設備容量として暫定負荷を対象としている。

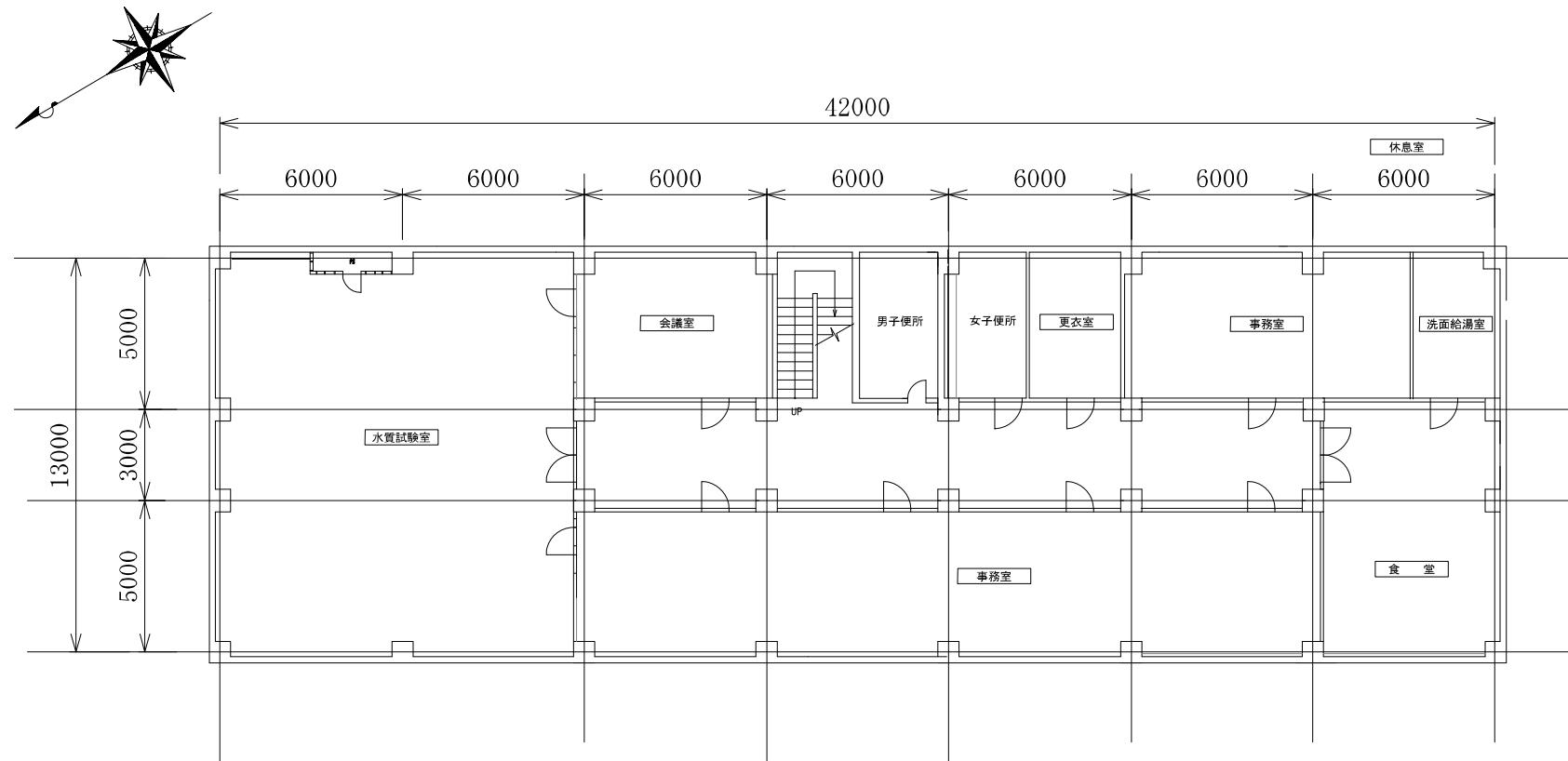
②上記のうち送水ポンプ、導水ポンプ設備以外は、既設設備の負荷を使用している。



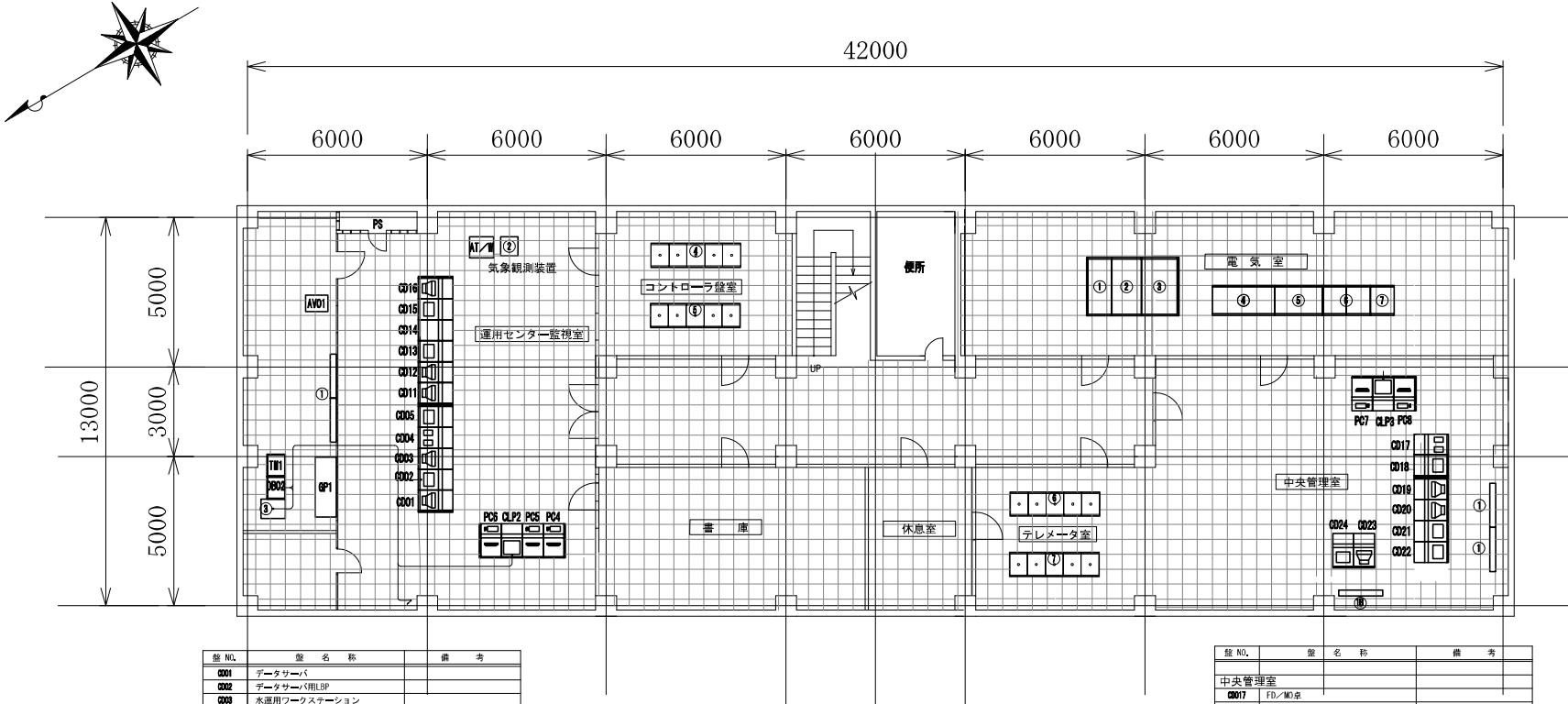
添付資料 6
取水場位置図



1F平面図



2F平面図



添付資料8 必要諸室の仕様及び備品

項目	名称	室面積(㎡)	人 数	使用目的	その他特記事項 ※ロッカーの長さ、人数は目安を示す。
操作管理域	中央管理室	126	6人	・各施設の監視業務	・計装機器を収容する十分なスペース ・ケーブルが集中するための対策(フリーアクセス) ・機器の搬入搬出口
	上水運用センター(将来設置予定)	186	7人	・岡崎市内の配水コントロール	・ケーブルが集中するための対策(フリーアクセス)
	電子計算機室	126			・計装機器を収容する十分なスペース ・ケーブルが集中するための対策(フリーアクセス) ・機器の搬入搬出口
水質管理域	水質計器室(将来設置予定)	156		・水質検査に関する計器設置	
	水質試験室(将来設置予定)		5人	・水質検査	・床は防水耐薬品仕様とすること ・床洗浄を行うことがあるため、水勾配の確保
事務管理域	事務室	165	13人	・浄水課の執務スペース	・事務机、椅子(13個)既設使用品同等以上とする ・書類保管用ロッカー(6m) ・6人用打合せスペース(職員用)
	会議室	30		・各種会議	・長机(10個)、パイプ椅子(30個)
	見学者説明室	156		・見学者説明	・長机(35個)、パイプ椅子(100個)、50インチ大型モニター(1台)
電気・機械管理室	電気室	90			・二酸化炭素による消火を行えるよう、完全な締切ができるようにすること。 ・適切な湿度が保てるよう、十分な空調設備を設置すること。
	自家発電室	別棟			
	空調室(機械室)	30			
	ポンプ室	別棟			
薬注管理室	次亜塩素酸ナトリウム貯蔵室	60		・薬品貯蔵	・床は防水耐薬品仕様 ・床洗浄を行うことがあるため、水勾配の確保 ・薬品保管棚は耐薬品、地震等考慮し木製造りつけ等とする。 ・台車による搬入・搬出が可能な出入り口とする。 ・出入り口は施錠可能とすること
	ポリ塩化アルミニウム貯蔵室	96		・同上	・同上
	苛性ソーダ貯蔵室	30		・同上	・同上
保全管理室	書庫・倉庫	75		・浄水課の資料保管	・移動式書棚(25m) ・施錠できること
厚生域	休憩室	15		・職員休憩用	・和室とし、押入れを設置すること ・寝具(4セット) ・テレビ(1台) ・ローテーブル(1個)
	食堂	48			・テーブル(1個)、椅子(6個)
	給湯室	15			・給湯器(1台)、ガスコンロ(1台)、造りつけ収納を設置すること。
	洗面室				・洗面台(1台)
	便所	90			・男子用は大便器(2個)、小便器(3個)、流し(2個) ・女子用は大便器(3個)、流し(2個) ・人感センサー設置 ・各フロアに男子用、女子用を設置すること
	更衣室	15			・更衣室用ロッカー(31個)
その他	玄関ホール	30			・下駄箱(100個)スリッパ(100個)
	廊下	180			・消火器を設置すること
	階段室	45			
計		1,764	31人		